

令和3年度

事業報告書



特別養護老人ホーム みろく苑
ショートステイ みろく苑
特別養護老人ホーム ひだまり
ショートステイ ひだまり
特別養護老人ホーム 野辺地ホーム
ショートステイ 野辺地ホーム
特別養護老人ホーム ラ・メール白山台
ショートステイ ラ・メール白山台
特別養護老人ホーム ラ・メール小中野
ショートステイ ラ・メール小中野
特別養護老人ホーム ゆうなぎの里
ショートステイ ゆうなぎの里

特別養護老人ホーム しおさい岬
ショートステイ しおさい岬
特別養護老人ホーム 能舞の里
ショートステイ 能舞の里
特別養護老人ホーム いちいの森
ショートステイ いちいの森
デイサービスセンター みろく苑
グループホーム みろく苑
グループホーム みろくの郷けんど
グループホーム みろくの郷かぐち
居宅介護支援センター みろくの郷
うらら居宅介護支援センター
佐井村保育所

目 次

1. 法人の概要	2
2. 沿 革	3
3. 吉幸会の理念（ミッション・ビジョン・バリュー）	4
4. 職員の状況	
① 職員配置の状況	5～11
② 職員の資格取得状況	12
5. 事業実施報告	13～36
6. 運営推進会議の状況	37～44
7. 稼働状況	45～48
8. 利用者の状況	49～56
9. 各事業の行事实施状況	
①～④行事の実施状況（各エリア）	57～60
⑤～⑧行事食の提供状況（各エリア）	61～64
10. 各事業の研修実施状況	
①～⑤内部研修実施状況（各エリア）	65～69
⑥～⑩外部研修受講状況（各エリア）	70～74
⑪主な会議・委員会・勉強会等の実施状況	75
⑫法人の取り組み	76

1. 法人の概要

- (1) 法人名 社会福祉法人 吉幸会
- (2) 法人所在地 〒039-1522 青森県三戸郡五戸町字苗代沢3番660
- (3) 開設者 上山幸吉（初代理事長）
- (4) 歴代理事長
初代 上山幸吉（平成12年10月12日～平成18年10月11日）
第2代 上山貢（平成18年10月12日～現在）
- (5) 歴代施設長等
 - 特別養護老人ホームみろく苑（田子町）
初代施設長 畑山利雄（平成13年4月16日～平成16年10月11日）
第2代施設長 古川茂（平成16年10月12日～平成19年3月31日）
第3代施設長 武部勝信（平成19年4月1日～平成23年4月30日）
第4代施設長 山村文雄（平成23年5月1日～平成25年3月31日）
第5代施設長 五十嵐潤（平成25年4月1日～平成26年3月31日）
第6代施設長 高舘誠（平成26年4月1日～令和2年3月31日）
第7代施設長 森裕一（令和2年4月1日～現在）
 - 特別養護老人ホームゆうなぎの里（佐井村）
初代施設長 宮野政彦（平成20年4月1日～平成28年3月31日）
第2代施設長 藤田隆（平成28年4月1日～現在）
 - 佐井村保育所（佐井村）
初代保育所長 岡本良夫（平成22年4月1日～平成22年8月31日）
第2代保育所長 樋口秀視（平成22年9月1日～平成23年3月31日）
第3代保育所長 番匠憲隆（平成23年4月1日～平成24年3月31日）
第4代保育所長 樋口隆文（平成24年4月1日～令和3年12月31日）
第5代保育所長 石澤尚人（令和4年1月1日～現在）
 - 特別養護老人ホームひだまり（五戸町）
初代施設長 玉川貴広（平成25年7月1日～平成28年3月31日）
第2代施設長 古川茂（平成28年4月1日～平成28年10月31日）
第3代施設長 玉川貴広（平成28年11月1日～平成30年3月31日）
第4代施設長 新井田壽弘（平成30年4月1日～現在）
 - 特別養護老人ホーム能舞の里（東通村）
統括管理者 川上俊雄（平成25年8月8日～平成26年3月31日）
初代施設長 菊池徳弥（平成25年8月8日～平成26年3月31日）
第2代施設長 川上俊雄（平成26年4月1日～平成31年3月31日）
第3代施設長 川村哲也（平成31年4月1日～現在）
 - 特別養護老人ホームしおさい岬（大間町）
初代施設長 伊藤健一（平成29年7月18日～令和4年3月31日）
 - 特別養護老人ホームいちいの森（東通村）
初代施設長 坂本茂樹（平成30年10月1日～現在）
 - 特別養護老人ホーム野辺地ホーム（野辺地町）
初代施設長 亀田満春（平成31年4月1日～令和2年3月31日）
第2代施設長 川代弘（令和2年4月1日～現在）
 - 特別養護老人ラ・メール白山台（八戸市）
初代施設長 高舘誠（令和2年5月25日～現在）
 - 特別養護老人ラ・メール小中野（八戸市）
初代施設長 高舘誠（令和3年5月25日～現在）

2. 沿革

○平成 12 年 10 月 5 日	知事より法人設立の認可を受ける。
○平成 12 年 10 月 6 日	法人について登記し社会福祉法人吉幸会（田子町）が設立される。
○平成 13 年 4 月 19 日	特養（29 床）に、SS（10 床）、GH（1 ユニット：9 床）、デイ（23 名）を併設するみろく苑が竣工。 知事より老人福祉法に定める特養みろく苑（田子町）として認可を受ける。
○平成 13 年 4 月 20 日	みろく苑（特養、SS、デイ、GH）が知事より介護保険事業所として指定を受け開設する。
○平成 13 年 10 月 1 日	GH みろく苑に B 棟を増築、2 ユニット（18 床）となる。
○平成 14 年 2 月 1 日	デイサービスみろく苑の利用定員を 10 名に変更。
○平成 14 年 12 月 1 日	GH みろく苑に C 棟を増築、3 ユニット（27 床）となる。
○平成 15 年 6 月 10 日	デイサービスみろく苑の利用定員を 15 名に変更。
○平成 17 年 3 月 31 日	GH（18 床）に居宅介護支援センターを併設するみろくの郷が竣工。
○平成 17 年 6 月 1 日	知事より、居宅介護支援センターみろくの郷として指定を受け開設する。
○平成 17 年 6 月 2 日	知事より、グループホームみろくの郷（茂市地区）として指定を受け開設する。
○平成 18 年 1 月 20 日	デイサービスみろく苑の利用定員を 23 名に変更。
○平成 18 年 4 月 1 日	介護保険法改正により介護予防サービス、地域密着型サービスが創設される。 特養みろく苑、GH みろく苑、GH みろくの郷が地域密着型サービス事業所へ移行となる
○平成 19 年 2 月 21 日	知事より、うらら居宅介護支援センターとして指定を受ける。
○平成 19 年 3 月 1 日	うらら居宅介護支援センター（三戸町）を開設し事業開始する。
○平成 20 年 3 月 31 日	知事より老人福祉法に定める特別養護老人ホームゆうなぎの里（佐井村）として認可を受ける。
○平成 20 年 4 月 1 日	佐井村、風間浦村、大間町より介護保険法に定めるユニット型地域密着型介護老人福祉施設（29 床） として指定を受け特別養護老人ホームゆうなぎの里を開設する。
○平成 20 年 4 月 20 日	特養みろく苑、SS みろく苑、デイサービスみろく苑、GH みろく苑が指定の更新を受ける。
○平成 20 年 4 月 28 日	知事より SS ゆうなぎの里（10 床）の指定を受け事業開始する。
○平成 22 年 4 月 1 日	佐井村より指定管理者制度による保育所運営の委託を受け、佐井村保育所の事業を開始する。
○平成 22 年 5 月 1 日	ゆうなぎの里がむつ市より介護保険事業所（2 床限定）としての指定を受ける。
○平成 24 年 4 月 1 日	田子町長より GH みろくの郷かぐち（9 床）として新たに指定を受け、GH みろくの郷が「けんど」 「かぐち」のユニットごとに事業所となる。
○平成 25 年 7 月 1 日	五戸町に特養ひだまり（29 床）、SS ひだまり（10 床）を開設。
○平成 25 年 8 月 8 日	東通村に特養能舞の里（29 床）、SS 能舞の里（10 床）を開設。
○平成 26 年 4 月 1 日	特養みろく苑を増床し定員を 41 名に変更。県より広域型の指定を受け、SS と併せて 60 床となる。
○平成 26 年 4 月 23 日	法人本部の所在地を「五戸町字苗代沢 3 番 660」に変更し、法人が五戸町に移転となる。 佐井村保育所で子育て支援センター事業の委託を受け事業開始する。
○平成 27 年 4 月 1 日	特養みろく苑を 9 床増床し、同時に SS を 9 床減床して、特養 50 床、SS10 床となる。
○平成 27 年 8 月 1 日	佐井村保育所で一時預かり事業の委託を受け事業開始する。
○平成 28 年 4 月 1 日	大間町に特養しおさい岬（29 床）、SS しおさい岬（10 床）を開設。
○平成 29 年 7 月 18 日	特養ゆうなぎの里を 10 床増床し入所定員を 39 名に変更。県知事より広域型の特養として指定を受け、 同時に SS を 10 床減床して SS が空床利用のみとなる。
○平成 30 年 4 月 1 日	東通村に特養いちいの森（29 床）、SS いちいの森（空床利用のみ）を開設する。
○平成 30 年 10 月 1 日	北部上北広域事務組合より事業移譲を受け、野辺地町に特養野辺地ホーム（50 床）、SS 野辺地ホーム（4 床）を運営する。
○令和 2 年 4 月 1 日	特養野辺地ホームを枇杷野地区に新築・移転し、特養を 30 床増床。SS と合わせて定員 84 床となる。
○令和 2 年 5 月 25 日	八戸市に特養ラ・メール白山台（29 床）、SS ラ・メール白山台（10 床）を開設。
○令和 3 年 5 月 25 日	八戸市に特養ラ・メール小中野（29 床）、SS ラ・メール小中野（10 床）を開設。

3. 吉幸会の理念（ミッション・ビジョン・バリュー）

『吉幸会のミッション（理念）』 ～法人が果たすべき役割～

「私たちは、健やかな育成と日常の為、
創意工夫して利用者を支援します」

『吉幸会のビジョン（理想）』 ～法人のあるべき姿～

「常に志を高く掲げ、既成の概念にとらわれることなく
挑戦する地域の創造者となろう」
「誠実を旨とし、笑顔と創意工夫をもって
利用者のサポーターとなろう」

『吉幸会のバリュー（倫理）』 ～職員の持つべき姿勢～

1. 我々はプロであることを自覚し、誇りと責任を持ちましょう
2. 働くことで誰かの役に立つ素晴らしさ。
その喜びと感動を忘れない
3. 慢心せずに仕事を見つめ、常に発想と工夫をしましょう
4. 「変化」を恐れず研鑽を重ね、自らの信念を磨きましょう
5. 会社・組織は「人の和」であると知り、和を尊びましょう
6. 常に謙虚な心を失うことなく万物へ感謝し、
礼節をわきまえる心を持ちましょう。
7. 自ら主張し、それ以上に他者の主張に耳を傾けましょう
8. 「わくわく」心を忘れず、
職業人生を笑顔でエンjoyしましょう

4. 職員の状況

① 職員配置の状況（令和4年3月31日現在）

	職 名	男		女		配置数 (職種別)	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤		
法 人 本 部	本 部 長	1				1	
	事 務 局 長	1				1	
	事 務 局 次 長			1		1	
	事 務 リ ー ダ ー			(1)		1	ゆうなぎの里事務員兼務
	事 務 員			2		2	
	むつ下北地区統括	1				1	
	三八上北地区統括	1				1	
計		4	0	3 (1)	0	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数 (職種別)	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤		
特養みろく苑 (SSを含む)	施 設 長	1				1	
	事 務 員			3		3	
	生 活 相 談 員			(1)		1	主任兼務
	介護支援専門員			(1)		1	主任兼務
	栄 養 士	1				1	
	看 護 職 員			3		3	
	主 任			1		1	
	フロアチーフ			1		1	
	リ ー ダ ー			2 (1)		3	副主任兼務
	介 護 職 員	5		14 (3)	2	24	リーダー兼務
	医 師		1			1	
	清 掃 員	2		1		3	
	用 務 員	1	1			2	
計		10	2	25 (6)	2	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数 (職種別)	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤		
デイみろく苑	管 理 者	(1)				1	特養管理者兼務
	主 任			1		1	
	生 活 相 談 員			2 (1)		3	主任兼務
	看 護 職 員			2		2	
	介 護 職 員	3		(2)		5	生活相談員兼務
	運転手兼用務員		1			1	
計		3 (1)	1	5 (3)	0	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数 (職種別)	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤		
GH みろく苑	管 理 者			1		1	
	主 任			(1)		1	管理者兼務
	フロアチーフ			1		1	
	ユニットリーダー			2 (1)		3	フロアチーフ兼務
	介護支援専門員	1		(2)		3	管理者・ユニットリーダー兼務
	計画作成担当者	(1)		(2)		3	介護支援専門員、ユニットリーダー兼務
	介 護 職 員	2 (1)		13 (4)		20	
計		3 (2)	0	17 (10)	0	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数 (職種別)	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤		
GH みろくの郷 け ん ど	管 理 者			1		1	
	介護支援専門員			(1)		1	管理者兼務
	計画作成担当者			(1)		1	管理者兼務
	介 護 職 員	1		5 (1)		7	
計		1	0	6 (3)	0	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数 (職種別)	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤		
GH みろくの郷 か め ち	管 理 者			1		1	
	主 任			(1)		1	管理者兼務
	フロアチーフ			1		1	
	介護支援専門員			(1)		1	管理者兼務
	計画作成担当者			(1)		1	管理者兼務
	介 護 職 員	1		4 (2)	1	8	
計		1	0	6 (5)	1	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数 (職種別)	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤		
居宅みろくの郷	管 理 者			1		1	
	介護支援専門員	1		3 (1)		5	管理者兼務
合 計		1	0	4 (1)	0	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数 (職種別)	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤		
居 宅 う ら ら	管 理 者			1		1	
	介護支援専門員			(1)		1	管理者兼務
計		0	0	1 (1)	0	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数 (職種別)	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤		
特養ゆうなぎの里 (SS を含む)	施 設 長	1				1	事務長兼務
	主 任			1		1	介護支援専門員と兼務
	事 務 員			2		2	
	生 活 相 談 員			(1)		1	介護支援専門員と兼務
	介護支援専門員			(1)		1	相談員と兼務
	栄 養 士			1		1	
	看 護 職 員			2		2	
	機能訓練指導員			(2)		2	看護職員兼務
	フロアチーフ			1		1	
	ユニットリーダー	1		3		4	介護職員兼務
	介 護 職 員	1 (1)		14 (4)		20	フロアチーフ兼務 1 名 ユニットリーダー兼務 4 名
	医 師		1			1	大間病院医師
	介 助 員				2	2	
計		3 (1)	1	24 (8)	2	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数 (職種別)	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤		
特養ひだまり (SS を含む)	施 設 長	1				1	
	事 務 員			1		1	
	主 任	(1)				1	施設長兼務
	フロアチーフ	1				1	
	生 活 相 談 員			1		1	
	介護支援専門員			(1)		1	生活相談員兼務
	栄 養 士			1		1	
	看 護 職 員			3		3	
	機能訓練指導員			(3)		3	看護職員兼務
	ユニットリーダー	1 (1)		2		4	フロアチーフ、介護職員兼 務 1
	介 護 職 員	2 (2)		6 (2)	5	17	フロアチーフ兼務 1 ユニットリーダー兼務 3
	医 師		1			1	
	介 助 員				1	1	
計		5 (4)	1	14 (6)	6	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数 (職種別)	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤		
特養能舞の里 (SS を含む)	施 設 長	1				1	
	事 務 員			2		2	
	主 任			1		1	
	生 活 相 談 員			(1)		1	主任兼務
	介護支援専門員			(1)		1	主任兼務
	栄 養 士			1		1	
	看 護 職 員			3		3	
	機能回復訓練員			(1)		1	看護職員兼務
	介 護 職 員	3 (2)		12	1	18	ユニットリーダー兼務
	ユニットリーダー	2				2	
	医 師		1			1	白糠診療所医師
計		6 (2)	1	19 (3)	1	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数 (職種別)	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤		
特養しおさい岬 (SS を含む)	施 設 長	1				1	
	副 施 設 長	1				1	
	事 務 員			2		2	
	主 任			1		1	
	フロアチーフ			1		1	
	生 活 相 談 員	(1)		(1)		2	副施設長兼務 1 主任兼務 1
	介護支援専門員	(1)		(1)		2	副施設長兼務 1 主任兼務 1
	栄 養 士			1		1	
	看 護 職 員			3		3	
	機能訓練指導員			(3)		3	看護職員兼務
	ユニットリーダー			4		4	フロアチーフ兼務 1 介護職員兼務 1
	介 護 職 員	2	2	11 (5)	1	21	フロアチーフ兼務 1 ユニットリーダー兼務 4
	医 師		1			1	
	介 助 員				2	2	
計		4 (2)	3	23 (10)	3	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数 (職種別)	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤		
特養いちいの森 (SS を含む)	施 設 長	1				1	
	事 務 員			1		1	
	主 任			1		1	
	生 活 相 談 員			(1)		1	主任兼務
	介護支援専門員			(1)		1	主任兼務
	栄 養 士			1		1	
	看 護 職 員			1		1	
	介 護 職 員	1	1	11	5	18	
	機能回復訓練員			(1)		1	看護職員兼務
	医 師		1			1	白糠診療所医師
計		2	2	15 (3)	5	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数 (職種別)	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤		
特養野辺地ホーム (SS を含む)	施 設 長	1				1	
	事 務 員			2		2	
	主 任	1				1	
	フロアチーフ			1		1	
	生 活 相 談 員	(1)				1	主任兼務
	介護支援専門員	(1)				1	主任兼務
	管 理 栄 養 士			1		1	
	看 護 職 員			4	2	6	
	機能訓練指導員			(4)	(2)	6	看護職員兼務
	介 護 職 員	3	1	16 (1)	3	24	フロアチーフ兼務
	調 理 員			5		5	
	清 掃 員		2		3	5	
	医 師		1		1	2	野辺地病院医師
計		5 (2)	4	29 (5)	9 (2)	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数 (職種別)	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤		
特養ラ・メール白山台 (SSを含む)	施 設 長	1				1	SS 管理者と兼務
	事 務 員			2		2	
	主 任	1				1	
	フロアチーフ	1				1	
	生 活 相 談 員	(1)				1	主任兼務
	介護支援専門員	(1)				1	主任兼務
	管 理 栄 養 士			1		1	
	看 護 職 員			3	1	4	
	機能訓練指導員			(3)	(1)	4	看護職員兼務
	リ ー ダ ー			1		1	
	介 護 職 員	3 (1)		6 (1)	5	16	フロアチーフ兼務 1 リーダー兼務 1
	医 師		1			1	いやしのもりクリニック 医師
	清 掃 員				2	2	
計		6 (3)	1	13 (4)	8 (1)	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数 (職種別)	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤		
特養ラ・メール小中野 (SSを含む) ※サテライト型特養	施 設 長	(1)				1	ラ・メール白山台施設長 兼務
	事 務 員			1		1	
	主 任			1		1	
	生 活 相 談 員			(1)		1	主任兼務
	介護支援専門員			(1)		1	主任兼務
	管 理 栄 養 士			(1)		1	ラ・メール白山台管理栄 養士兼務
	看 護 職 員			2	1	3	
	機能訓練指導員			(2)	(1)	3	看護職員と兼務
	リ ー ダ ー			1		1	
	介 護 職 員	1		8 (1)	3	13	リーダー兼務 1
	医 師		1			1	ホームケアクリニック 八戸医師
	清 掃 員				2	2	
計		1 (1)	1	13 (6)	6 (1)	(注) () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数 (職種別)	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤		
佐井村保育所	所 長	1				1	
	主 任 保 育 士			1		1	
	保 育 士			5	1	6	
	調 理 師			1		1	
	調 理 補 助 員				1	1	
	運転手兼用務員	1				1	
計		2	0	7	2		

法人合計	男		女		備 考
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
	57 (18)	17 (0)	224 (75)	45 (4)	職員総数 343 名 (嘱託医 9 名含む)

②職員の資格取得状況（令和４年３月３１日現在）

	男	女	計	備 考
介護支援専門員	7	20	27	三八上北地区 20 名、下北地区 7 名
正看護師	0	16	16	三八上北地区 12 名、下北地区 4 名
准看護師	1	16	17	三八上北地区 11 名、下北地区 6 名
社会福祉士	0	1	1	三八上北地区 1 名、下北地区 0 名
介護福祉士	17	89	106	三八上北地区 76 名、下北地区 30 名
社会福祉主事	1	7	8	三八上北地区 8、下北地区 0 名
ヘルパー１級	0	1	1	三八上北地区 1 名、下北地区 0 名
ヘルパー２級	13	52	65	三八上北地区 45 名、下北地区 20 名
初任者研修	10	30	40	三八上北地区 29 名、下北地区 11 名
管理栄養士	1	2	3	三八上北地区 3 名、下北地区 0 名
栄 養 士	0	5	5	三八上北地区 1 名、下北地区 4 名
衛生管理者	0	2	2	三八上北地区 2 名、下北地区 0 名
甲種防火管理者	14	2	16	三八上北地区 9 名、下北地区 7 名
認知症開設者研修修了者	0	1	1	三八上北地区 1 名、下北地区 0 名
認知症管理者研修修了者	1	7	8	三八上北地区 8 名、下北地区 0 名
認知症リーダー研修修了者	1	10	11	三八上北地区 10 名、下北地区 1 名
認知症実践者研修修了者	9	41	50	三八上北地区 43 名、下北地区 7 名
ユニットリーダー研修修了者	5	15	20	三八上北地区 6 名、下北地区 14 名
介護福祉士ファーストステップ研修修了者	0	6	6	三八上北地区 6 名、下北地区 0 名
保 育 士	0	7	7	三八上北地区 1 名、下北地区 6 名
調 理 師	0	5	5	三八上北地区 4 名、下北地区 1 名
上田法認定訓練士	0	1	1	三八上北地区 1 名、下北地区 0 名

（注１） 複数の資格を有する者は、それぞれカウントして記載しています。

5. 事業実施報告

●令和3年度 事業の概要

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大が出口の見えてこない状況の中、福祉の現場に大きな影響を及ぼす困難を迎えながら、感染防止への対応を通じて見えてきた様々な課題について、行政による補助や情報提供などを活用し、迅速かつ柔軟な事業運営を実施した。

また、介護報酬改定の節目でということもあり、制度の変更にも適切に対応しながら、サービスの専門性と質の向上、起こりうるリスクに対応する事業継続ための取組み、魅力ある組織づくり、テクノロジー活用による現場の革新などに取り組みながら、漫然とせず、法人に常に成長と革新をもたらす法人運営に努めた。

●各事業の実施報告

(1) 法人運営

○健全経営の維持・管理と事業所支援の向上

令和3年度は介護報酬改定の節目の年であり、国の求める介護事業の在り方が変わる年でもあった。法改正の趣旨に合わせて柔軟に事業運営を修正しながら、感染症や災害など危機に強い介護事業所づくりを大きな柱とし、増大・多様化するサービス需要に地域特性を考慮したきめ細やかな対応を図っていくことで、各事業がサービスの質を高め「求められる姿」となるような支援に努めました。

○安定的かつ良質なサービスを提供するための取組み

職員のスキルアップのため、研修のための委員会による計画的な研修機会の提供やサービス必要となる技術指導などを実施した。また職員の介護支援専門員、介護福祉士、管理栄養士などの資格取得に対して様々な角度からサポートを実施して提供するサービスの質の底上げを図った。

○人材確保と中長期的展望に立った現場改革

人口減少に伴う福祉サービスの担い手不足が大きな課題となる中、地域のサービス提供基盤としての責任を確実に果たすため、現場の理解を求めながら、高齢者や障がい者、外国人材などといった多様な人的資源の活用や、ICTテクノロジーの積極的導入により、サービスの質の維持・向上と人手不足解消を両立できる現場改革を実施した。

○法人のイメージアップと働きたくなる組織づくり

各種協賛やメディアの活用によるPR活動、ホームページの刷新、SNSの利活用による積極的な情報発信等を継続して実施して、法人の魅力を高めるとともにイメージアップに努めた。

また、適切な評価と指導による人事処遇、キャリアパスが明確なあらたな給与システムの導入、福利厚生の実施化を図り、働きやすく、働きがいのある職場環境の実現にむけた諸施策を行うことで、働きたくなる魅力ある組織づくりに取り組んだ。

○有事を想定した危機管理体制の整備と本部機能の強化

激変する環境に柔軟かつ迅速に対応しながら、規模拡大している事業のマネジメントをより確実に実施するため、本部機能強化に努めました。自然災害や新型コロナウイルス感染症拡大など、起こりうるさまざまなリスクに対応しながら被害を最小限にとどめて、事業を継続していけるような法人独自の仕組みを整備するなど、迫りくる危機に対する事前対策や、万一起きた場合の即応対応を実現するための危機管理体制強化に取り組みました。

(2) 介護老人福祉施設事業（広域型従来型）・・・特別養護老人ホーム「みろく苑」

○安心して安全な生活の支援

新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症の情報をこまめに収集し、その都度、職員への周知を図る為に勉強会を行い感染予防対策に努めた。入居者や家族の要望等を尊重し確認しながら環境を整え、ベッド等の福祉用具等を購入するなど、より安心、安全で穏やかに生活が送れるように努めた。また、新型コロナウイルス感染症の影響で行事や外出が制限されている中でも、定期的に行事等を行い、楽しみを持って過ごしていただけるように努めた。新型コロナウイルス感染症対策の為に面会制限を実施したが、ガラス越し面会等でご家族や入居者に安心して頂けるように努めた。

○ケアプランに基づくサービスの品質向上

入居者のご家族からの情報収集とケアの個別性を再確認しながら、研修等で得たことを参考に入居者や家族の意向等に基づいて援助の方法や目標を明確にして、サービスの内容に盛り込みながら具体的に支援を続けてくことでサービスの品質向上に努めた。

○入所者自らが主体となる適切なケアの提供

申し送りや情報共有に努め、ICTを活用したケア記録システム「ケアコラボ」を活用し、職員同士の連携を密にしながら入居者の日常生活が可能な限りご自身で行えるよう支援をし、羞恥心への配慮なども適切に援助する等、必要なケアが適切に提供できるよう努めた。認知症高齢者が増加していることから、認知症ケアの知識や技術を高めるために認知症介護基礎研修、認知症介護実践リーダー研修に参加する等、職員育成に努めた。

○重度化と看取りに対応できる施設づくり

重度化対応にも対応できるよう外部研修（喀痰吸引等研修など）の活用や法人内の有資格者による研修等を盛り込みながら研鑽に努めた。医療機関とも連携をしながら状況に応じて協力病院と連絡を取るなど迅速な対応に努めた。

○地域住民が気軽に相談できる場の提供

新型コロナウイルス感染症対策の為に、地域の関係機関との連携が対面では難しいこともあり、電話等での相談が多かった。

(3) 介護老人福祉施設事業 (広域ユニット型)・特別養護老人ホーム「ゆうなぎの里」

○「自分らしい生活」「笑顔で生活」の実現に向けての取り組みを実施

新型コロナウイルスの感染対策を実施しながら、職員・利用者の体調管理に努め、行事・レク活動に取り組んだ。企画運営は各部署・委員会が中心となっており、全職員で協力し地域の行事体験、食レク等を中心とした活動を実施した。日常生活では、個別活動の選択ができるようにし、職員と利用者が一緒に活動ができる時間の確保に努めた。

○家族への情報提供の強化を実施

オンライン面会、窓越し面会、広報紙を活用しながら、家族へ日常生活の様子など細やかな情報を提供できるように取り組んだ。利用者の病状経過に対しても施設での往診時に協力病院の先生から説明していただく機会を設け、家族と施設職員が本人の意向に即した治療方針の決定となるよう情報共有に努めた。

○内部研修の充実を図りケアの向上を実施

各委員会を中心に施設内の状況を確認し、現在施設の課題となっている内容を分析した研修を実施した。また、各分野での学習を実施し、課題解決方策案を全職員へ周知し、実践に向けての取り組みに努めた。

○協力病院・居宅介護支援事業所との連携を図り空床利用の実施

協力病院や居宅支援事業所と連携を図り、退院後の自宅復帰に向けたショート利用、施設サービスの検討をしていた方に対しての利用など、様々なニーズに合わせた対応が出来た。

(4) 介護老人福祉施設事業(密着型ユニット型)・・特別養護老人ホーム「ひだまり」

○「職員研修充実」のための支援

外部研修（オンライン中心）に参加出来る際には積極的に参加するよう努めたが介護職員の人員不足により参加できない研修もあり、早急に人員の補充が必要である。法人内研修の参加についてはオンライン・対面式の研修に参加できた。月1回の介護会議時に、身体拘束マニュアルや高齢者虐待防止マニュアル等を参照し勉強会を行い知識向上に努めた。また、介護技術の向上の為ベッドメイキングやポジショニングの勉強会を行い、スタッフ一人ひとりのスキルアップに努めた。看取りに向けた勉強会を行うことが出来なかったが、次年度の課題として取り組む。

○「地域福祉の拠点づくり」支援

新型コロナウイルス感染症予防のため、地域での催し物等がほとんど中止となった年であった。このため、地域活動では町内清掃活動の一環として町たばこ組合のごみ拾いに参加した。また、当施設周辺道路脇の草刈り等を実施したが他行事は中止のため参加ができなかった。さらに、施設行事等についても感染予防のため開催を最小限に控えた。

この中でも、感染者数の動向を都度確認し運営推進会議については対面開催を数回行うことができた。

○外国人技能実習生の受け入れ」支援

外国人実習生の育成指導について、3名のうち1名が家庭の事情で一時帰国をせざるを得なかったが、他2名は令和3年9月からの勤務形態を変更し夜勤の一人体制をとり介護技術の向上に努めた。また、『全国外国人技能実習生日本語弁論大会東日本大会』に2名の実習生が参加し1名は1位（最優秀賞）受賞した。技能実習指導員の指導の下、実習生の介護技術と日本語の向上を図り記録業務についても日々研鑽している。

当初、インドネシアから令和3年4月に2期生2名が配属の予定であったがコロナ禍により入国ができなかった。最新情報として令和4年5月配属の予定でいる。

(5) 介護老人福祉施設事業(密着型ユニット型)・特別養護老人ホーム「能舞の里」

○入所者に寄り添い尊厳に配慮したサービスの提供

昨年度より選択食を導入・実施し、入所者の皆さんに食事を楽しんで食べる機会を提供できたことは評価できる。又、職員間の連携についても ICT〈ケアコラボ〉の導入により入所者の情報を共有することができるようになってきている。とりわけ、入所者が日々自分自身の日常生活に即応した生活リズムを尊重し、個々に合った安心安定した施設生活を提供することができた。

○適切な健康管理のもとでの看取り

コロナ禍の現況化の中、家族面会規制のもと感染対策の一貫として、提携医療機関の協力・指示を仰ぎながら、施設で最期を迎えたいという本人・家族の希望は医療機関での最期を迎える環境を整えざるをえなかった。

○身体機能の低下防止

当該年度も看護職員(機能訓練指導員)を確保することが叶わず、入所者が意欲的に楽しみを持って取り組めるようなプログラム作成を実施することができなかった。しかし、コロナ禍にあっても各種行事を通して利用者間の交流を最低限図ることができた。

○地域との交流促進

コロナ禍の現況化のため、感染対策を優先せざるを得ないことから、合同夏祭り等での家族・地域住民参加型イベントを開催することができなかった。しかし、利用者家族や運営推進委員を通じた情報提供は発信することができた。

○職員の介護技術や知識の向上

当該年度はコロナ禍のためオンラインによる法人内及び外部研修に積極的に参加し個々のスキルアップと知識のレベルアップを図ることができた。

特に、今後の認知症対策の観点から今期1名の認知症介護基礎研修受講が叶い新任職員への研修資格取得への弾みとなることを期待したい。とりわけ、令和4年度外国人技能実習生受入に向けた講習会参加により、万全な受入体制を構築することができた。更には、介護福祉士国家試験に1名の合格者を排出できたことは、同僚職員への刺激材料となり次年度以降に繋げることができた。

○地域貢献と啓蒙活動の推進

コロナ禍の現況化のため、対外的な啓蒙活動は叶わなかったが、家族面会制限緩和を11・12月の2ヶ月間実施し、利用者と家族の触れ合いを提供できたことは、少しは地域貢献に結び付けることができた。又、家族面会規制継続中にあっても、年2回の広報誌発行や家族への郵送時利用者個々の写真を添え、施設での生活状況を高覧いただき好評を博したところである。

○介護人材の確保

今年度の法人本部において、積極的に外国人技能実習生を受け入れる方針に「能舞の里」事業所も参画し、2名の外国人技能実習生インドネシア人を受け入れが決定したものの、世界的なコロナ禍の現状から年度内の施設受け入れが叶わなかった。しかしながら、次年度の受け入れが確定したことで、新卒者1名と合わせ計21名の介護職員を確保できたことは大きな成果と言える。

○感染予防対策の徹底

21世紀の最大の問題とも言える感染症対策は、今後人類が永劫対処していかなければならない不変の課題になりつつある。そのためにも、個人個人が日常の感染予防を習慣としながらも、ワクチン接種や抗原検査キッド及びPCR検査体制を国家主導で早期に構築し、国内全体が安心した日常生活と経済活動を行えることが望ましい。

(6) 介護老人福祉施設事業(密着型ユニット型)・特別養護老人ホーム「しおさい岬」

○新型コロナウイルス感染予防対策の強化

日々新型コロナウイルスの標準予防対策を徹底しながら、感染予防褥瘡予防対策委員会を主体にゾーニングをはじめとするシミュレーションを行った。

また、多職種において発生時の対応フローの見直しが出来たことや抗原検査キットの有効活用など施設全体で感染予防対策に取り込むことが出来た。

今後も、感染予防の研修を定期的に継続しながら自然災害時を含めた事業継続計画（ＢＣＰ）の構築に努めたい。

○機能訓練や生活リハビリの充実とＩＣＴ化の向上

機能訓練指導員が中心となり、協力医療機関協力のもとリハビリ指導を個別に提供することが出来た。生活リハビリ活動として、製作活動に取り組んだほか、定期的にラジオ体操を実施したことで利用者の生活のメリハリに繋がった。

また、介護ケアシステムの運用については、記録の効率化と情報共有の利便性が定着し始めたことで業務の生産性にも繋がった。

今後は、ご家族様宛にタイムリーな情報を提供できる体制づくりを図りたい。

○認知症高齢者介護力の向上と栄養管理の体制強化

外部研修や施設内研修において、認知症をテーマに内容の充実を図った。

今後は、研修の評価や確認、研修後のフォローを含めた研修管理の体系づくりに努め、更なる対応力のスキル向上に繋げたい。

コロナ禍の中、年間を通して四季折々の「食の楽しみ」を丁寧に提供するが出来た。制限下の窮屈な日常の中に、栄養士を中心とする職員の想いが利用者の笑顔に反映される場面となった。また、栄養ケアマネジメントへの移行に向け共通認識の確立を図った。

○地域における介護老人福祉施設としての施設機能の還元

法人ホームページにリンクするソーシャルネットワークサービスの活用、広報誌の発行、ケアコラボの活用により情報の発信・共有を図った。また、ケアコラボの活用としては、ご家族様に対してコロナ禍での状態報告に大変喜ばれたケースが複数あった。利用者の受け入れについては、大間病院をはじめ居宅介護支援事業所と連携を図りながら入所希望のニーズに速やかに対応するように努めた。

(7) 介護老人福祉施設事業（密着型従来型）・特別養護老人ホーム「いちいの森」

○入所者に寄り添ったサービスを提供

今年度も感染防止対策のため面会規制を継続した結果、入所者と家族のつながりが少なくなっていました。オンライン面会等、できることは推進しましたが実施できたのは一部の方に限られることとなった。面会しなくても施設での生活がわかるよう、全職種からのメッセージを盛り込んだご利用者ごとの通信を作成・発行したり、家族と会う機会があった際は要望の確認をする等の工夫は試みた。

○健康管理のもと元気に過ごす

定期的な回診や必要時の受診により、異変を早期に発見することで、軽症のうちに治療し大事に至ることはなかった。入所者平均年齢 88 歳という現状の中で急変も往々に考えられるため、日常の健康管理と医療関係者との連携は欠かせないものであった。今年度は「最期は自宅で看取りたい」という家族の意向に添い、自宅で家族に囲まれながら旅立つお手伝いも実現できた。

○身体機能の低下を防止

個々にプログラムを作成し取り組むことはできなかったが、日常生活動作をリハビリとして取り組み、残存機能の維持と活用を促した。日課としてラジオ体操を取り入れ全職員で取り組むことができた。結果、疾病以外で要介護度が悪化した例は見られなかった。

○地域との交流促進

コロナ禍で地域でのイベントも中止が多く、外出やイベントへ参加する機会がほとんどなかった。ボランティアや慰問も、施設内への立ち入りを禁止していたことで受け入れができなかった。外出行事は他者と接触しないようなドライブ等を工夫し実施した。

○感染症予防と発生時の対応力強化

感染予防対策を継続すると共に、発生時のシュミレーション等を実施し、対策を講じた。

○災害発生時の対応力の強化

日頃から隣接する施設と連携し対策を講じた。

○ショートステイ（空床利用）の活用

空床時は介護支援事業所等へ情報を発信し、速やかにサービス利用につなげることができた。また、利用実績を重ねることで定期的利用は難しいが、問い合わせは増えている。

(8) 介護老人福祉施設事業（広域型従来型）・特別養護老人ホーム「野辺地ホーム」

○利用者にとって「あずましい」生活の場を目指して

常に明るい笑顔と優しい声掛け「ぬくもり」と「安らぎ」のある環境づくりとを目指して、新人職員教育カリキュラムの見直しを行い実行した。また、吉幸会の理念“ミッション・ビジョン・バリュー”や野辺地ホームのモットーを施設内に掲示したり、これらを周知・理解するための研修会を開催したりして職員全体の意識改革に努めた結果、職員全体に徐々に浸透しつつある。利用者本位の支援・介護という点においては今後も継続的に課題把握と分析を進め、改善と質の向上を図っていく。

○利用者の健康維持と感染予防

今年度は、公立七戸病院褥瘡管理者を講師に迎え「褥瘡ケアの基本研修」や看護師会の感染認定看護師による「コロナ対策にも使える感染対策の研修」を実施し、知識を深めた。医師による定期訪問診察、訪問歯科診療、月一回のリハビリは定期的に行い、利用様の健康維持を図ることができた。

○家族・地域との関わり

新型コロナウイルスの流行の継続により、ご家族・利用者様の面会には制限を設け、窓越し面会や、オンライン面会等で対応した。新型コロナウイルス感染が一時落ち着いたときには、沖上げ音頭や笹踊りの慰問を受け入れ、小規模ではあったが夏祭りを開催することができた。久々の慰問に涙ぐんでいる利用者様もあり、好評を得ることができた。その他の地域交流・地域活動については感染症予防の観点から実施を見合わせており、実施時期の見極めや新たな活動の発掘について課題を残した。

(9) 介護老人福祉施設事業（密着型従来型）・特別養護老人ホーム「ラ・メール白山台」

○医療や看取りに関するニーズへの対応

嘱託医とそのクリニックの看護師と、何度も検討を重ね、入居者の健康状態を共有し適切な健康管理に努めた。また、施設での看取りを希望するご本人やご家族の意向に添って、看取りケアを実施することができた。カンファレンスを通して、入居者の状態を共有しアセスメントやモニタリングをすることで、統一したケアに努めることができた。

○ラ・メール白山台での生活が豊かなものになるような創意工夫

八戸市内のサービスも活用しながら、施設にいながらも、入居者様が望む、楽しみ方を実現できる施設づくりを目指し、その一つとしてコンビニエンスストアの移動販売について検討を重ねていたが、八戸市内で新型コロナウイルス感染が広がったことで活用までには至らなかった。しかしながら、昭和コーナーや研修室、ホールを活用しながら宅配ピザを頼んだり、アイスやテイクアウトコーヒーなどで楽しむ様子を見ることができた。

○ICTを活用した介護記録と開かれた施設となるための情報共有

ご家族様がケア記録を閲覧できる機能について、施設に来所した際に紹介し、閲覧機能の活用を進めたが、登録されたご家族は1組と少なかった。しかし、コロナ禍であっても差し入れやその他で施設を訪れたご家族には、ケアコラボ内の記録を実際にみていただくことで、施設内での様子を伝えることができ、ご家族もその記録を写真にとっていく方もおり、少しずつであるが、ご家族様の閲覧機能登録に向けた取り組みができた。

○サービスの質の向上を目指した取り組みと地域交流

短時間研修や、少人数グループを数回に分けて内部研修を実施することができ、知識と技術の向上に努めることができた。しかし効果測定やその後のフォローが十分にできていなかった点もあり、令和4年度はその点を改善しながら継続したい。新型コロナウイルス蔓延にともない、地域交流ができなかったが、隣の有料老人ホーム白山台と一緒に検討していくことになり、来年度はぜひ実施できるものしていきたい。

(10) 介護老人福祉施設事業 (密着型従来型・サテライト型)・特別養護老人ホーム「ラ・メール小中野」

○サテライト型施設としてのメリットを活かした運営

職員の入れ替わりが多くみられたが、本体施設のラ・メール白山台と互いに協力体制を気づきながら業務を遂行することができた。有事の際の人員応援や受け入れ体制も確立したことで安心して運営をすることができた。

○利用者も家族も親しみやすい、地域に愛される施設として

利用者に四季を感じてもらえるよう季節に応じた壁紙などを作成し工夫した。接遇では、電話対応のスキルアップを目的とし勉強会を行うことで職員一人ひとりの対応が向上した。地域の方や家族の方がいつでも気軽に訪れてもらえるように明るい声で丁寧な接客を心がけた。

○地域に安心と暮らしやすさを提供できる施設を目指して

地域の住民が在宅で困っていると訪ねてきた時などは丁寧に介護保険の説明や関係機関を紹介した。また、関係機関からの問い合わせなどがあった時は一緒に解決方法を探し、ラ・メール小中野が地域の福祉コミュニティー拠点の一つと思ってもらえるように努めた。

○ICTを活用した介護記録と質の高いサービス提供

ケア記録システム「ケアコラボ」を活用し普段の様子などをリアルタイムでお伝えすることで、家族との情報共有を図ることができた。感染防止対策として勤前の検温、出勤時の手指消毒など徹底して取り組んだ。事故防止対策ではヒヤリハットや事故報告の振り返りを行い、再発防止に努めた。

○地域との交流促進

新型コロナウイルスの感染者が増えてきていることもあり、職員が地域内に出かけて積極的に地域住民に働きかけることができなかった。今後、オンラインなどを活用した情報発信の手段も含めて施設の有する機能を地域に開放できるように努めていきたい。

(11) 短期入所生活介護事業（従来型）・・・ショートステイ「みろく苑」

○アセスメント・モニタリングの制度の高いサービス提供

過不足なく適切なサービス提供ができるように ICT を活用したケア記録システムを「ケアコラボ」を活用し、アセスメント・モニタリングの精度を高め、利用して良かったと感じて頂けるよう在宅生活環境に可能な限り近づいたサービスを提供し、ケアの充実を図り、介護負担の軽減に努めた。

○福祉用具を活用した利用者個々に合わせたサービス提供

福祉用具を活用しながら、利用者個々に合わせたサービス提供ができるように努めた。また福祉機器の車椅子、ベッド、エアマット、転倒予防のためのセンサーマットなど導入をすることで、職員の身体的負担軽減に努め、利用者が安心して介護を受ける事ができるよう物的環境も整備した。

○認知症ケアの充実によるサービスの向上

認知症のケアの専門性を高めるための認知症介護基礎研修、実践者研修等の研修会に参加し、認知症についての理解を深め、認知症ケアの充実を図った。また、介護スキルや知識の習得を目的とした実技・研修等を行い、チームとしての目標を持ち、統一したケアが出来るように、報告、連絡、相談、確認を継続して行った。

○居宅介護支援事業所との連携による地域貢献

居宅介護支援事業所との連携を高めながら、利用者確保に努め、安定した運営がと地域貢献ができるよう努めた。

(12) 短期入所生活介護事業（ユニット型）・・ショートステイ「ひだまり」

○コロナ禍での「法人内外の研修に参加し、ケア向上、質の向上を図る」支援

月1回の介護会議時に、身体拘束マニュアルや高齢者虐待防止マニュアル等を参照し勉強会を行い知識向上に努めた。また、介護技術の向上の為ベッドメイキングやポジショニングの勉強会を行った。業務中でもリーダーやフロアーチーフが中心となり、都度指導を行いスタッフ一人ひとりのスキルアップに努めた。

○「在宅での認知症や寝たきりの方の褥瘡予防」の支援

相談員が中心となり担当ケアマネジャーからは皮膚状態を確認し、ショートステイ開始前のアセスメントとスタッフへの情報周知、ケアの統一を行い褥瘡予防に努めた。褥瘡予防冊子の作成は実行できなかったが、都度ご家族と担当ケアマネジャーと相談員がこまめな連絡を取り合い予防効果向上に努めた。

○居宅介護支援事業所のケアマネジャーが立案した計画書」を基本とした事前情報の収集と個別ケア支援

ショートステイ開始前には、相談員が居宅介護サービス計画書を把握確認し、短期入所生活介護計画書を作成、ご家族からの同意をいただき、サービス内容をスタッフと共有し個別ケアが出来るよう努めた。

また、ショートステイ退所後には利用中の状況等を都度担当ケアマネジャーへ報告し、再度ご利用していただけるよう働きかけを行い、定期的にご利用していただく方も増えた。

今後は、相談員が中心となりながらも施設スタッフも利用者が定期的に活用していただけるような取り組みを図っていく。

(13) 短期入所生活介護事業（ユニット型）・・ショートステイ「能舞の里」

○利用者目線のサービス提供

利用者・家族が望んでいる生活実現に向けるべく、職員間の連携についても ICT〈ケアコラボ〉の導入により入所者の情報を共有することができるようになってきている。又、利用者一人一人の情報をその都度収集し、職員間での情報を共有することで、利用者に寄り添ったサービス提供に繋げることができた。

○身体機能の維持

現況では機能訓練指導員不足から本格的なリハビリテーション時間の確保が困難になっているものの、生活リハに重点を置き、看護職員と介護職員が連携し、ショートステイ終了後も自宅での生活を継続できるように利用者の ADL 維持に取り組むことができた。又、日々の生活リズムにおいて自主的にオムツ処理用新聞折作業や乾燥洗濯物整理及びカラオケ・郷土芸能ビデオの視聴を通して、手指の日常リハビリ訓練や視聴覚機能訓練を自然発生的に取り入れることができるようになり、利用者間の連帯・共同意識が定着するようになった。

○事故防止

今年度もヒヤリハットからの事故が度々発生したが、その都度身体拘束・事故防止委員会、例月の運営会議及びユニット会議において事故検証を行い、再発防止に努めてきた。そのため、事故を未然に防止すべく日頃から、職員の利用者に対する気配り・目配り目線で利用者に安心したサービス提供を以て事故防止の抑制に繋げたい。

○感染症予防の徹底

21 世紀の最大の問題とも言える感染症対策は、今後人類が永劫対処していかなければならない不変の課題になりつつある。そのためにも、利用者・職員個人個人が日常の感染予防の習慣徹底に努めていることが、施設内部からの被罹患患者抑制に結びついている。

(14) 短期入所生活介護事業（ユニット型）…ショートステイ「しおさい岬」

○新型コロナウイルス感染予防対策の継続とサービス体制の強化

感染予防褥瘡予防対策委員会を中心に、新型コロナウイルス感染予防対策として日々の標準予防策をはじめ、ゾーニングから初期対応までのシミュレーションに取り組んだ。また、濃厚接触者の発生により厨房を含めた多職種間で受け入れ体制の確認、見直しを行うなど体制の強化に努めた。

○利用者に応じたサービス提供体制の構築

利用者の身体状況に応じて居室やユニットの空間づくりに配慮しながら、体調不良や不穏の利用者に対しユニット型個室の利便性を最大限に活用した。

また、新規認知症高齢者の受け入れではユニットに固執せず多職種においてケアに寄り添い丁寧な関わりが出来たことで、居宅介護事業所や家族との信頼性を高めることに繋がった。

○個々の役割業務の遂行とレクリエーションの展開

定期的なラジオ体操の実施や、機能訓練指導員を中心とした季節毎の製作活動を、年間を通して実施することが出来た。コロナ感染予防対策を十分に留意しながら、共同生活の場の中で、互いの関係性を認め合いながら、自立した生活を促進出来るような日々の日課の確立を図った。また、四季にちなんだ食事提供や、鍋作りやおやつ作りといった食レクでは、回数も多く実施出来たほか、季節や行事毎に空間作りを創意工夫したことで利用者の満足度向上に繋がった。

○地域貢献と施設機能の強化

介護ケアシステム「ケアコラボ」の運用により、居宅介護支援事業所やご家族に対し情報の発信、共有を図ることで開かれた施設運営に努めた。

また、新規サービス利用者の受け入れ時には利用時の状況を適切に伝え、新たなケア方法を発信することで利用者やご家族の精神的サポートを担った。

今後は、多様なニーズに対応出来るよう、介護力向上を図り地域の在宅介護に、より貢献したい。

(15) 短期入所生活介護事業（従来型）…ショートステイ「野辺地ホーム」

○個性の重視と精神面の支援

利用者が抱える様々な要因により、ほとんどの方が継続的にサービスを利用した。その結果、サービス利用による環境の変化に起因する不安や緊張感は比較的少なく、安寧に過ごすことができていたように感じている。感染症流行の影響で、家族との面会は窓越しやオンラインによる面会に限られたが、その他の生活支援では、個々の心身状態やのニーズに合わせた支援に努めることで精神的不安の軽減を図ることができた。

○自立支援につながる行事やレクリエーションの実施

特養の入居者と一緒に季節に応じた行事やレクリエーション活動に積極的に参加できるよう支援した。また、新聞たたみや収穫した野菜の皮むきなどのお手伝い等を通じて身体の機能維持・向上を図り、自立支援に繋がるサービスに努めた。

○家族・関係機関・地域との関り

居宅介護支援事業所との連携を深め、昨年に引き続き新規サービス利用者の獲得と、特養の空床も活用しながら、より多くの方々にご利用いただけるよう努めた。介護者の介護負担軽減となるようサービスを提供できたことは微力ながら地域貢献となったものと考えている。

(16) 短期入所生活介護事業（従来型）・・ショートステイ「ラ・メール白山台」

○ICT を活用した介護記録と開かれた施設となるための情報共有

ご家族様がケア記録を閲覧できる機能について、施設に来所した際に紹介し、閲覧機能の活用を進めたが、登録されたご家族は1組と少なかった。しかし、コロナ禍であっても差し入れやその他で施設を訪れたご家族には、ケアコラボ内の記録を実際にみていただくことで、施設内での様子を伝えることができ、ご家族もその記録を写真にとっていく方もおり、少しずつであるが、ご家族様の閲覧機能登録に向けた取り組みができた。

○在宅生活での日課に配慮した施設内生活と相談支援

ショートステイ利用者の習慣や自宅での様子を聞き、施設内でも生活リズムを整えながらも利用者本人が困らず利用できるよう努めた。その他、ご家族の困りごと、本人の困りごとが自宅で少しでも改善できるよう、本人やご家族から情報を得ながらのサービス提供に努めた。その情報共有と相談をしたことで、在宅での困りごとが改善され、ご家族の介護負担の軽減できたなど意見をもらうことができた。また、利用者同士の関係性や特徴を知り、スタッフも関わりを持つことができ、利用者同士が好きな時間に集まり、談話する様子が多くみられるようになった。

○認知症ケアの知識の習得とケア技術の向上

新任研修も踏まえ、認知症ケアの基本的な知識の習得に努めた。また行動心理症状に対する理解については、スタッフごとに捉え方が異なる場合にも申し送り等で統一できるよう努めることができた。外部の研修に参加できなかった為、令和4年度は参加できるようにしていきたい。

○施設・スタッフを「社会資源」であることを意識した地域貢献

スタッフ会議時に、来年度実施を目標に検討してみたが、コロナ蔓延中だったこともあり、具体的な内容は絞れなかった。しかしゴミ拾いや歩行者へのあいさつなど基本的なことを実施し、隣の有料老人ホームとも検討をしていきながら進めたい。その中で、特養申し込みをされている方の関係者から、電話対応や訪問した時のスタッフの対応に感銘を受けたと電話や手紙をくださる方もおり、地域の方が安心して暮せるよう、また、地域の方々から愛される施設であり続けられるよう取り組んでいきたい。

(17) 短期入所生活介護事業（従来型）・・ショートステイ「ラ・メール小中野」

○自宅での生活との継続性を重視した個別ケアの提供

在宅で生活している方が急遽ショートステイを利用する時に抱く不安や緊張感に配慮し、精神的な支援に力を注ぐことで穏やかに生活できるよう取り組んだ。また、自宅での生活との継続性を特に重視してサービスを提供することで自宅にいるような感じで安心して生活できたとの声を多くいただいた。

○身体機能維持向上を図ったサービスを提供

季節に応じた行事やレクリエーション活動を毎月行うことで、気分転換を図りながら身体を動かしてもらうことができた。その他に日常生活で新聞たたみやチラシのごみ箱の製作等お手伝いを通じて昔を思い出してもらいながら身体機能維持・低下予防に取り組むことができた。

○在宅で介護する家族の強力な精神的サポート役

本体施設である「ラ・メール白山台」で実施するショートステイ事業所と密接な連携を図り、相互にベッドコントロールすることで利用者が速やかにショートステイを利用できるよう配慮した。そのことにより緊急避難的な利用にも対応することができた。

○関係機関や居宅介護支援事業所との連携と地域貢献

病院や居宅介護支援事業所などと連携を図ることで、地域での困りごとなどの相談にも対応できるように努めた。

(18) 通所介護事業・・・デイサービスセンター「みろく苑」

○利用者とともに自己選択・自己決定から感じる満足を共有しあえる環境作りとケアの提供

新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症の情報をこまめに収集し、その都度、職員への周知を図る為に勉強会を行い感染予防対策に努めた。又、感染症の状況に合わせて家族様や居宅介護支援事業所との情報共有を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で行事や外出が制限されている中でも、定期的に事業所独自の行事や料理クラブ等を行い、目的や楽しみを持ってご利用していただけるように努めた。ご自宅での普段の生活リズムや役割等を、ご本人及びご家族からアセスメントを行い利用時に合わせられるよう、また、生活に張り合いを見出すための健康トリムやアクティビティ活動等の取り組みを利用者自身に選択・決定していただけるよう環境を整えてきたが、職員主体となる時が多くあり課題となった。業務の見直しについて事業所内会議等に話し合いを行ったが、改善までは取り組むことができなかった。

○寄り添うケアで利用者様と家族様との信頼関係の構築を重視したケアの実施

認知機能低下予防の取り組みとして、シナプソロジーを継続し利用者・職員ともに楽しみながら取り組み努めたが、現在、インストラクターが1名しかおらず、インストラクターの育成が課題となっている。認知症に関する外部研修は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、オンラインで参加できる研修のみに参加した。内部研修にて勉強会を行い、認知症の方の病状が進行している方に対して心に寄り添うケアを行うことで利用者やご家族の認知症に対する不安軽減を図った。

○接遇マナーを重視した内部研修によるサービスの質の向上

介護サービスの窓口的役割を担っている通所サービスということを意識しながら、契約時には当事業所の取組等を細部まで説明し安心してご利用いただけるよう支援に努めた。また、利用後も安心してご利用して頂く為に、利用者や家族様が相談しやすくなるよう内部研修にて接遇の勉強会を行い、あたたかさや誠実さのある接遇に留意した支援に努めた。

○関係機関や居宅介護支援事業所と密な連携を図り、感染予防に配慮した地域貢献

相談員が中心となり、各居宅介護支援事業所や各関係機関との報連相を継続し柔軟な受け入れができるように努めた。当事業所の取組等を担当の介護支援専門員やご家族へは広報等でお知らせした。ケアコラボを活用したご家族様の情報提供は実現しておらず、今後の課題となっている。新型コロナウイルス感染症の影響でサロン等には参加できなかったが、町内の文化祭への出展と見学を行い地域貢献に努めた。

(19) 認知症対応型共同生活介護事業・・・グループホーム「みろく苑」

○信頼と安心して暮らせるサービス提供

地域で必要とされるグループホームを目指し、職員にしかできない真心を込め、認知症になっても自分らしい生活が送れるように介護職員は専門性を発揮し支援した。また、ご家族様や医療との連携に、ICTを活用しながらのオンライン面会や画像での情報交換等、今まで以上の信頼関係が築けるように努めた。

○ICTを活用した情報共有の実施

ケアコラボを活用しながら「ケアの見える化」を実践し、家族や医療と記録を活用して共有できた。連絡や相談を行いながら、看護師がいないグループホームでも、入居者様や家族様が安心して生活ができるように支援した。

○研修や勉強会によるスタッフの専門性の向上

限られた人員でも業務の効率化を図りながら、入居者様と関わる時間を作り出し、家庭的な環境下で、その方の人生録を活かし、会話のきっかけや自分らしい生活が送れるように支援した。介護職員は見取りを視野に入れた内部研修や外部研修にも参加をして、真心を込めた温かい個別性あるケアサービスができるように努めた。

○居宅介護支援事業所や関係機関との連携と地域貢献

地域住民が認知症になっても安心してご利用いただける身近な施設として、グループホームだからできる家庭的な環境下での、居心地よく、質の高いサービス提供をした。その為に、居宅介護支援事業所やその他の関係機関との情報交換を密にして、入居サービス受け入れに柔軟に対応できる体制作りに努めた。

(20) 認知症対応型共同生活介護事業(単独型)・グループホーム「みろくの郷けんど」

○一人ひとりの思いを尊重した自分らしい日常生活の支援

新型コロナウイルス感染症の情報をこまめに収集し、その都度、職員への周知を図り、感染対策に努めた。感染対策により面会制限や外出の機会を減らした事による「ストレス」への対応として、一人ひとりの思いを尊重し、季節の行事やプチドライブ(車中のみ)、施設内でできる楽しいレク・行事の企画を立て、実行しストレスの軽減に努めた。共同で行っている作業、食器拭き、洗濯物たたみ等は継続し行い、それぞれの役割を持って自分らしく生活を送れるよう努めた。また、ご家族様が安心できるよう個人通信や広報で写真をいつもより多く掲載し、郷での様子が分かるよう配慮した。

○認知症の進行・重度化していく入所者に対応できるケア提供

「ケアコラボ」を活用し、チームとして共有し、随時、主治医・訪問看護へ相談し入居者様が安心できるケア提供に努めた。また、本人と家族の望むケアがいつでも提供できるよう「報・連・相」を都度行なった。

認知症のケアの専門性を高めるため、認知症介護実践者研修(オンライン研修)へ参加し認知症についての更なる理解を深め、認知症ケアの充実を図った。また、法人の階層別の研修へ参加し、個々に合わせてレベルアップする事が出来た。

○ショートステイサービスの実施に地域貢献

入居者様の入院、退所による空床ベッドを速やかに埋める事が出来なかった。居宅介護支援事業所やその他の関係機関との連携が足りなかったと考えている。次年度は速やかに短期利用サービスを実施し、ご家族様の介護負担の軽減を図れるようにする。また、コロナ禍でも地域住民の困りごとに対して気軽に相談できる場になれるようアプローチしていく。

(21) 認知症対応型共同生活介護事業（単独型）・グループホーム「みろくの郷かぐち」

○一人ひとりの思いを尊重した自分らしい日常生活の支援

新型コロナウイルス感染症の情報をこまめに収集し、その都度、職員への周知を図り、感染対策に努めた。感染対策により面会制限や外出の機会を減らした事による「ストレス」への対応として、一人ひとりの思いを尊重し、季節の行事やプチドライブ（車中のみ）、施設内でできる楽しいレク・行事の企画を立て、実行しストレスの軽減に努めた。共同で行っている作業、食器拭き、洗濯物たたみ等は継続し行い、それぞれの役割を持って自分らしく生活を送れるよう努めた。また、ご家族様が安心できるよう個人通信や広報で写真をいつもより多く掲載し、郷での様子が分かるよう配慮した。

○認知症の進行・重度化していく入所者に対応できるケア提供

「ケアコラボ」を活用し、チームとして共有し、随時、主治医・訪問看護へ相談し入居者様が安心できるケア提供に努めた。また、本人と家族の望むケアがいつでも提供できるよう「報・連・相」を都度行なった。

認知症のケアの専門性を高めるため、認知症介護実践者研修（オンライン研修）へ参加し認知症についての更なる理解を深め、認知症ケアの充実を図った。又、法人の階層別の研修へ参加し、個々に合わせてレベルアップする事が出来た。

○ショートステイサービスの実施に地域貢献

入居者様の入院、退所による空床ベッドを速やかに埋める事が出来なかった。居宅介護支援事業所やその他の関係機関との連携が足りなかったと考えている。次年度は速やかに短期利用サービスを実施し、ご家族様の介護負担の軽減を図れるようにする。また、コロナ禍でも地域住民の困りごとに対して気軽に相談できる場になれるようアプローチしていく。

(22) 保育事業・・・・・・・・佐井村保育所

○子どもに寄り添い、子どもの思いに耳を傾ける保育の実践

今年も、保護者との連携を密にし、家庭での子どもの生活状況の把握に努め、子どもの思いや願いをやさしく受け止めることに重点を置いた保育に努め、子ども達の安心安全と保護者に信頼していただけるような保育活動を展開してきた。特に、混合保育（異年齢交流）に力を注ぎ、活動への意欲や積極性の喚起、他者へ対する思いやりの心を育んできた。

○父母の会の協力による行事の充実・及び健康で安心・安全な保育環境の整備

コロナ禍ではあったが、行事の運営に当たり事前に父母の会と相談し、より有効な行事の設定を探ってきた。そのため意義のある運動会、発表会を実施することができた。また、子どもの生活リズムを大切にしながら、健康で安全な、情緒の安定する生活が送れるよう、家庭との情報交換を密にすることを重視し取り組んできた。特に、食育指導として、歯の健康については、村内の歯科センターと連携を強化し、虫歯予防、噛むことの大切さを家庭と一体となって進め、指導を重ね、幼児期からの食に対する意識の高揚と肥満防止に努めた。

○地域社会との連携による「郷土愛」を育む保育の実践

年間行事の中で、家庭（父母、祖父母）や地域、学校などとの交流を積極的に持つことで、子ども達に「佐井村を愛する心」を育みながら次世代育成や世代間交流へと繋げてきた。また、積極的に広報活動を展開し、情報を発信・提供し情報の共有化を進め、開かれた保育所運営に努めてきた。コロナの感染拡大により、祭りをはじめとする村内での各種行事が中止や規模縮小により参加できなかったことは残念であった。

○地域の子育て支援拠点としての機能

乳児保育や障害児保育など、地域の子育てニーズにしっかりと対応できるよう保育の質の向上につながる研修を充実させてきた。また開始6年目となった、子育て支援センター事業も子育て家庭に広く浸透し、子育て相談、子育て講座等充実した支援が繰り広げられた。特に、乳幼児を育てる村外からの利用者、帰省してきた子育てママも集える場として十分な支援拠点となった。しかし、これもまたコロナ感染拡大により、村内在住の方のみの受け入れ期間があり、規模を縮小せざるを得なかったことは残念であった。

(23) 居宅介護支援事業・・・居宅介護支援センター「みろくの郷」

○運営方針に対して

新型コロナウイルス感染症の感染者数が増加する中でも、スタッフ一人一人が感染予防対策を講じ利用者やその家族への支援を行い本人も家族も安心して在宅で生活できる支援に努めた。居宅介護支援の核である介護保険法及び関係法令を遵守し、公正中立な立場で適正な給付管理を行い、利用者や家族に対しニーズに応じた相談や助言が出来るよう努めた。おおむね利用者本位の納得と満足のサービスコーディネートが実践できた。しかしながら利用者の介護認定申請控えや施設入所をせざるを得ないことが計画数を安定して確保するに至らなかった。

○自己研鑽による質の高いサービス提供

高い専門性と豊かな人間性の獲得を常に目指し自己研鑽に努めている。しかしながら、研修の機会が大きく減少したことや訪問での情報交換の機会を得られなかったことがケアマネジメントを利用者および家族の本位に進めるための確認に困難を極めた。守秘義務の厳守に関してや居宅部会議等で事例検討・学習会を開催し、支援技術の共有化を図り、事業所全体でケアマネジメントに取り組む体制を整備した。引き続き、ケアマネージャー個々のこだわりではなく、チーム吉幸会居宅部として社会の奉仕者であることを基幹においた業務を遂行していく必要があると考える。

○地域にマッチングしたサービス構築のための提言や啓発活動

独居や老々介護・認々介護の方々など、現状のサービスだけでは十分に生活を支援できないケースを支援するため、町や地域包括支援センター、他の指定居宅介護支援事業者、介護サービス事業者、介護施設等との綿密な連携を図り、地域にマッチングした新たに必要なサービス構築のため地域包括ケアシステムの委員長としての活動を実践できたこと、令和4年度からは地域共生社会の活動の実践を通して地域課題の解決のため活動を進化していく必要を感じた。また、認知症サポーターとしての普及活動、提言や啓発に努めており、地域貢献への取り組みを実施した。

○自立支援を基本にした在宅支援を目指し、選ばれる事業所づくり

高齢者の尊厳を保持し、地域性豊かなサービス計画のもと自立支援を進める在宅介護支援活動を行い、インフォーマルサポート体制の提言を実施した。クライアントやその家族のみならず、関係事業所や医療関係機関からも選ばれる事業所となるよう努めてきた。また、地域に根ざした介護支援事業所として、法人内、法人外を問わず各種行事に積極的に参加し、地域住民や関係機関との関係性を深め、地域全体での信頼感を高められるよう努め活動をした。

(24) 居宅介護支援事業・・・「うらら」居宅介護支援センター

○在宅で安心して暮らせるような支援の実施

一人事業所として、介護保険法を遵守しての自立支援に向けた活動を展開できたが、利用者の高い評価には至っていない。新型コロナウイルス感染症の蔓延も重なって、結果として目標とする計画利用者の増加に繋がらなかった。また、病院、事業所等の地域活動に積極的に参加するなどかなりの協力や共同事業には貢献してきているが、活動内容が地域全体へ広範な評判にまで至っていない事が稼働実績として表れる事となった。利用者の減少幅が少ないことから今後の活動に余地を残すところと考えている。

○関係機関との相互協力体制の確立

地域での自治会活動や研修会の実施が、感染症の蔓延のため中止になったことなどから積極的な参加や法人への研修支援が難しかった。後進の育成事業に対してはかなりの時間を注ぎ貢献することができた。

○多様な利用者への支援による地域貢献

地域ケア会議への積極的参加や各事業所間での情報共有に会議等を通して、一人暮らし対応や認知症サポーターと役割を果たすべき活動を実施した。特に認知症については地域に出向いての対話や相談事業にも関わることができた。

○みろくの郷居宅介護支援事業所との連携による質の向上と事業の継続

みろくの郷との連携は、業務の特殊性から多くはないが、計画数の確保が課題であるにも関わらず連携できなかった。利用に繋がるような紹介等に及ばず、平均で80%を下回る稼働に低迷したことは今後の課題として取り組みたい。予防介護計画数についても減少の傾向があり、新規利用者の確保に向けた取り組みを具体的に検討していく必要がある。研修参加後の実践活動に生かす！がまだ不十分といえる。事業継続が必須であり質の向上や開かれた介護支援事業所に向けた取り組みが一層必要と考察された。

6. 運営推進会議の状況

① 特別養護老人ホームゆうなぎの里（計4回）

第1回 令和3年6月24日（金） 14：30～ 場所：ゆうなぎの里研修室

出席委員：7名 欠席委員：1名

<主な内容>

○人事関係・利用状況・研修・行事・給食等について

○令和2年度事業報告について

○令和3年度事業計画について

○夏祭り中止について

○推進委員の欠員に伴う変更及び委嘱状交付

第2回 新型コロナウイルス感染予防のため開催せず、資料送付

<主な内容>

○人事関係・利用状況・研修・行事・給食等について

第3回 令和3年12月23日（木） 13：30～ 場所：ゆうなぎの里研修室

出席委員：5名 欠席委員：3名

<主な内容>

○人事関係・利用状況・研修・行事・給食等について

○新型コロナウイルス感染対策について

○待機者状況について

○面会制限・オンライン面会について

○推進委員について（2名退任の意向表明）

第4回 令和4年3月22日（火） 13：30～ 場所：ゆうなぎの里研修室

出席委員：7名 欠席委員：1名

<主な内容>

○人事関係・利用状況・研修・行事・給食等について

○運営推進会議の廃止について

○運営推進委員感謝状贈呈2名

○法人現況説明

② 特別養護老人ホームひだまり（計6回）

第1回 令和3年5月19日（水）書面会議

<主な内容>

- 入居者状況 ○ひだまり活動報告
- ヒヤリハット・事故報告
- 新型コロナウイルス感染予防対策について

第2回 令和3年7月21日（水）10：00～ 場所 ひだまり会議室

出席委員：7名 欠席委員：0名

<主な内容>

- 入居者状況 ○ヒヤリハット・事故報告
- ひだまり活動報告
- 新型コロナウイルス感染予防対策の取り組みについて
- 職員研修等

第3回 令和3年9月15日（水）書面会議

<主な内容>

- 入居者状況
- ヒヤリハット・事故報告
- ひだまり活動報告
- 新型コロナウイルス感染予防対策について

第4回 令和3年年11月17日（水）10：00～ 場所 ひだまり会議室

出席委員：8名 欠席委員：3名

<主な内容>

- 入居者状況 ○ヒヤリハット・事故報告
- ひだまり活動報告
- 新型コロナウイルス感染予防対策について
- 職員研修

第5回 令和4年1月19日（水）書面会議

<主な内容>

- 入居者状況 ○ヒヤリハット・事故報告
- ひだまり活動報告
- 新型コロナウイルス感染予防対策について

第6回 令和4年3月17日（水）書面会議

<主な内容>

- 入居者状況 ○ヒヤリハット・事故報告
- ひだまり活動報告
- 新型コロナウイルス感染予防対策について

③ 特別養護老人ホーム能舞の里（計４回）

第１回 令和３年７月２０日（火）

〈主な内容〉

- ①委嘱状交付
- ②利用状況報告について〔３月～５月〕
- ③行事・給食報告について〔４月～７月〕

第２回 令和３年１０月１５日（金）

〈主な内容〉

- ①利用状況報告について〔６月～８月〕
- ②行事・給食報告と予定について〔８月～１２月〕

第３回 令和３年１２月２３日（木）

〈主な内容〉

- ①利用状況報告について〔９月～１１月〕
- ②行事・給食報告と予定について〔１２月～３月〕

第４回 令和４年３月２５（金）

〈主な内容〉

- ①令和４年度事業計画について
- ②令和４年度組織図について
- ③令和４年度職務基準・事務分担について
- ④利用状況報告について〔１２月～２月〕
- ⑤能舞の里運営推進会議設置要綱について
- ⑥下期広報配布

④ 特別養護老人ホームいちいの森（計４回）

第１回 平成３年７月２１日（水） ※書面による報告

<主な内容>

- 稼働率の状況
- 事務分担
- 事業報告（３～５月）
- 事業計画（６～８月）
- 新型コロナの施設対応について

第２回 平成３年１０月１４日（木） ※書面による報告

<主な内容>

- 稼働率の状況、
- 事業報告（６～８月）
- 事業計画（９～１２月）
- 新型コロナの施設対応について

第３回 平成３年１２月２３日（木） ※書面による報告

<主な内容>

- 稼働率の状況
- 事業報告（９～１１月）
- 事業計画（１２～３月）
- 施設の面会について
（マスク不着用の面会、マスク着用の面会、面会中止）

第４回 平成４年３月２８日（月） ※書面による報告

<主な内容>

- 稼働率の状況
- 事業報告（１２～３月）
- 事業計画（４～６月）
- 面会の状況について
- 令和４年度４月いちいの森組織体制について
- 令和４年度事業計画について

⑤ 特別養護老人ホームしおさい岬（計6回）

第1回 令和3年5月26日（水）15：30～しおさい岬研修室
出席委員：6名 欠席委員：0名

<主な内容>

- 利用者状況について
- 施設の活動について
- 令和3年度事業計画
- 稼働率について
- 会長・副会長の互選について
- 面会について
- ショート介護度について

第2回 令和3年7月30日（木）13：30～しおさい岬研修室
出席委員：5名 欠席委員：1名

<主な内容>

- 利用者状況について
- 施設の活動について
- 外部内部研修について
- 新役員委嘱状交付
- 特養利用者欠員について
- 管理栄養士について
- 喀痰吸引について
- 夏祭りについて
- 利用者の写真について

第3回 令和3年9月29日（水）13：30～しおさい岬研修室
出席委員：4名 欠席委員：2名

<主な内容>

- 利用者状況について
- 施設の活動について
- 外部内部研修について
- 待機者について
- リハビリについて
- 行事活動内容について
- コロナについて

第4回 令和3年11月26日（金）13：30～しおさい岬研修室
出席委員：3名 欠席委員：3名、宮野統括

<主な内容>

- 利用者状況について
- 施設の活動について
- 外部内部研修について
- オンライン研修について
- 不在者投票について
- 新型コロナワクチンについて

第5回 令和4年1月25日（火）13：30～しおさい岬研修室
出席委員：4名 欠席委員：2名

<主な内容>

- 利用者状況について
- 施設の活動について
- 外部内部研修について
- オムツ業者変更について

第6回 令和4年3月25日（金） ※感染対策のため書面送付

<主な内容>

- 利用者状況について
- 施設の活動について
- 外部内部研修について

⑥ 特別養護老人ホームラ・メール白山台

第1回 令和3年5月31日（月） ※書面送付

<主な内容>

○令和2年度 活動報告

- ・入居者の状況
- ・入社式、施設内のホール等の写真（こだわり・設備の紹介）
- ・ケア記録システム（ICT化）の紹介、説明
- ・施設行事の紹介
- ・オンライン面会について
- ・行事食の紹介

⑦ 特別養護老人ホームラ・メール小中野

第1回 令和4年3月30日（水） ※書面送付

<主な内容>

- 入居者の状況について
- ヒヤリはっと・事故報告について
- ラ・メール小中野活動報告について
- その他

⑧ グループホームみろく苑（計6回）

新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、令和3年度は「書面による情報提供・報告」により会議の開催と代えて行いました。

第1回 令和3年4月吉日 委員：8名

<内 容>

- 事業内容及び活動報告
- 令和3年度事業計画
- 令和3年度年度運営推進会議日予定表
- その他（お知らせ）

第2回 令和3年6月吉日 委員：8名

<内 容>

- 事業内容及び活動報告
- 令和2年度事業報告
- その他（お知らせ）

第3回 令和3年8月吉日 委員：8名

<内 容>

- 事業内容及び活動報告
- その他（お知らせ）

第4回 令和3年10月吉日 委員：8名

<内 容>

- 事業内容及び活動報告
- その他（お知らせ）

第5回 令和3年12月吉日 委員：8名

<内 容>

- 事業内容及び活動報告
- 外部評価結果
- その他（お知らせ）

第6回 令和4年2月吉日 委員：8名

<内 容>

- 事業内容及び活動報告
- 令和4年度運営推進会議日予定表（案）
- その他（お知らせ）

⑨ グループホームみろくの郷けんど・かぐち（計6回）

新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、令和3年度は「書面による情報提供・報告」により会議の開催と代えて行いました。

第1回 令和3年5月吉日 委員：10名（うち郷職員4名）

<内 容>

○令和3年度事業計画書

○事業内容及び活動報告

第2回 令和3年6月吉日 委員：10名（うち郷職員4名）

<内 容>

○事業内容及び活動報告

○令和2年度事業報告

第3回 令和3年8月吉日 委員：10名（うち郷職員4名）

<内 容>

○事業内容及び活動報告

第4回 令和3年10月吉日 委員：10名（うち郷職員4名）

<内 容>

○事業内容及び活動報告

第5回 令和3年12月吉日 委員：10名（うち郷職員4名）

<内 容>

○事業内容及び活動報告

第6回 令和4年1月吉日 委員：10名（うち郷職員4名）

<内 容>

○事業内容及び活動報告

○外部評価結果

7.稼働状況

○令和3年度 吉幸会事業実績一覧(R3. 4月～R4. 3月)

[illegible]

7. 稼働状況

◎月平均の稼働状況（集計期間：R3.4月～R4.3月）

◎特養みろく苑・ショートステイみろく苑

項 目	特 養		ショート		特養ショート合算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	50人	50人	10人	10人	60人	60人
可能稼働数	1,520.8	1,520.8	304.2	304.2	1,825.0	1,825.0
実稼働数	1,387.3	1,439.0	330.1	329.3	1,717.4	1,768.3
稼働率	91.2%	94.6%	108.5%	108.3%	94.1%	96.9%

◎特養ひだまり・ショートステイひだまり

項 目	特 養		ショート		特養ショート合算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	29人	29人	10人	10人	39人	39人
可能稼働数	882.1	882.1	304.2	304.2	1,186.3	1,186.3
実稼働数	820.0	805.3	303.8	301.8	1,123.8	1,107.0
稼働率	93.0%	91.3%	99.9%	99.2%	94.7%	93.3%

◎特養野辺地ホーム・ショートステイ野辺地ホーム

項 目	特 養		ショート		特養ショート合算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	80人	80人	4人	4人	84人	54人
可能稼働数	2,433.3	2,433.3	121.7	121.7	2,555.0	2,555.0
実稼働数	1,952.9	1,817.0	198.6	191.5	2,151.5	2,008.5
稼働率	80.3%	74.7%	163.2%	157.4%	84.2%	78.6%

◎佐井村保育所

項 目	前年比	
	今年度	前年度
児童数	27.8人	33.5人

◎グループホームみろく苑

項 目	グループ（苑）	
	今年度	前年度
定 員	27人	27人
可能稼働数	821.3	821.3
実稼働数	811.1	810.6
稼働率	98.8%	98.7%

◎デイサービスセンターみろく苑 ◎うらら居宅

項 目	デ イ	
	今年度	前年度
定 員	23人	23人
可能稼働数	697.7	697.7
実稼働数	489.7	501.1
稼働率	70.2%	71.8%

項 目	うらら	
	今年度	前年度
定 員	35人	35人
可能稼働数	35.0	35.0
実稼働数	27.1	29.5
稼働率	77.4%	84.3%

◎居宅みろくの郷

項 目	居宅郷	
	今年度	前年度
定 員	140人	140人
可能稼働数	140.0	140.0
実稼働数	106.7	111.0
稼働率	76.2%	79.3%

◎グループホームみろくの郷

項 目	けんど		かぐち		合算比	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	9人	9人	9人	9人	18人	18人
可能稼働数	273.8	273.8	273.8	273.8	547.5	547.5
実稼働数	262.9	263.8	266.8	260.3	529.7	524.2
稼働率	96.0%	96.4%	97.4%	95.1%	96.7%	95.7%

◎特養ラ・メール白山台・ショートステイラ・メール白山台

項 目	特 養		ショート		特養ショート合算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	29人	29人	10人	10人	39人	39人
可能稼働数	882.1	1,503.2	304.2	518.3	1,186.3	2,021.5
実稼働数	807.0	1,080.8	298.9	480.0	1,105.9	1,560.8
稼働率	91.5%	71.9%	98.3%	92.6%	93.2%	77.2%

◎特養ゆうなぎの里・ショートステイゆうなぎの里

項 目	特 養		ショート		特養ショート合算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	39人	39人	0人	0人	39人	39人
可能稼働数	1,186.3	1,186.3	0.0	0.0	1,186.3	1,186.3
実稼働数	1,097.3	1,091.0	25.2	29.6	1,122.4	1,120.6
稼働率	92.5%	92.0%	2.1%	2.5%	94.6%	94.5%

◎特養能舞の里・ショートステイ能舞の里

項 目	特 養		ショート		特養ショート合算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	29人	29人	0人	10人	29人	29人
可能稼働数	882.1	882.1	304.2	304.2	1,186.3	1,186.3
実稼働数	816.9	817.9	333.4	346.4	1,150.3	1,164.3
稼働率	92.6%	92.7%	109.6%	113.9%	97.0%	98.2%

◎特養ラ・メール小中野・ショートステイラ・メール小中野

項 目	特 養		ショート		特養ショート合算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	29人	—	10人	—	39人	—
可能稼働数	819.9	—	282.7	—	1,102.6	—
実稼働数	635.5	—	138.1	—	773.6	—
稼働率	77.5%	—	48.8%	—	70.2%	—

◎特養しおさい峠・ショートステイしおさい峠

項 目	特 養		ショート		特養ショート合算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	29人	29人	10人	10人	39人	39人
可能稼働数	882.1	882.1	304.2	304.2	1,186.3	1,186.3
実稼働数	833.3	838.2	259.3	304.1	1,092.6	1,142.3
稼働率	94.5%	95.0%	85.2%	100.0%	92.1%	96.3%

◎特養いちいの森・ショートステイいちいの森

項 目	特 養		ショート		特養ショート合算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	29人	29人	0人	0人	29人	29人
可能稼働数	882.1	882.1	0.0	0.0	882.1	882.1
実稼働数	833.1	846.4	30.8	22.8	863.9	869.3
稼働率	94.4%	96.0%	3.5%	2.6%	97.9%	98.5%

※グループホームの実績は短期利用者も含んでいます。

※ショートステイの実績には介護予防利用者も含んでいます。

※端数は小数点第2位を四捨五入しています。

7. 稼働状況

○令和3年度 吉幸会事業実績一覧（特養）

【月当たり平均稼働率】

◎みろく苑

項目	特 養		シヨート		合 算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	50人	50人	10人	10人	60人	60人
稼働率	91.2%	94.6%	108.5%	108.3%	94.1%	96.9%

◎ゆうなぎの里

項目	特 養		シヨート		合 算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	39人	39人	0人	0人	39人	39人
稼働率	92.5%	92.0%	2.1%	2.5%	94.6%	94.5%

◎ひだまり

項目	特 養		シヨート		合 算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	29人	29人	10人	10人	39人	39人
稼働率	93.0%	91.3%	99.9%	99.2%	94.7%	93.3%

◎しおさい岬

項目	特 養		シヨート		合 算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	29人	29人	10人	10人	39人	39人
稼働率	94.5%	95.0%	85.2%	100.0%	92.1%	96.3%

◎野辺地ホーム

項目	特 養		シヨート		合 算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	80人	80人	4人	4人	84人	54人
稼働率	80.3%	74.7%	163.2%	157.4%	84.2%	78.6%

◎能舞の里

項目	特 養		シヨート		合 算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	29人	29人	0人	10人	29人	29人
稼働率	92.6%	92.7%	109.6%	113.9%	97.0%	98.2%

◎ラ・メール白山台

項目	特 養		シヨート		合 算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	29人	29人	10人	10人	39人	39人
稼働率	91.5%	71.9%	98.3%	92.6%	93.2%	77.2%

◎いちいの森

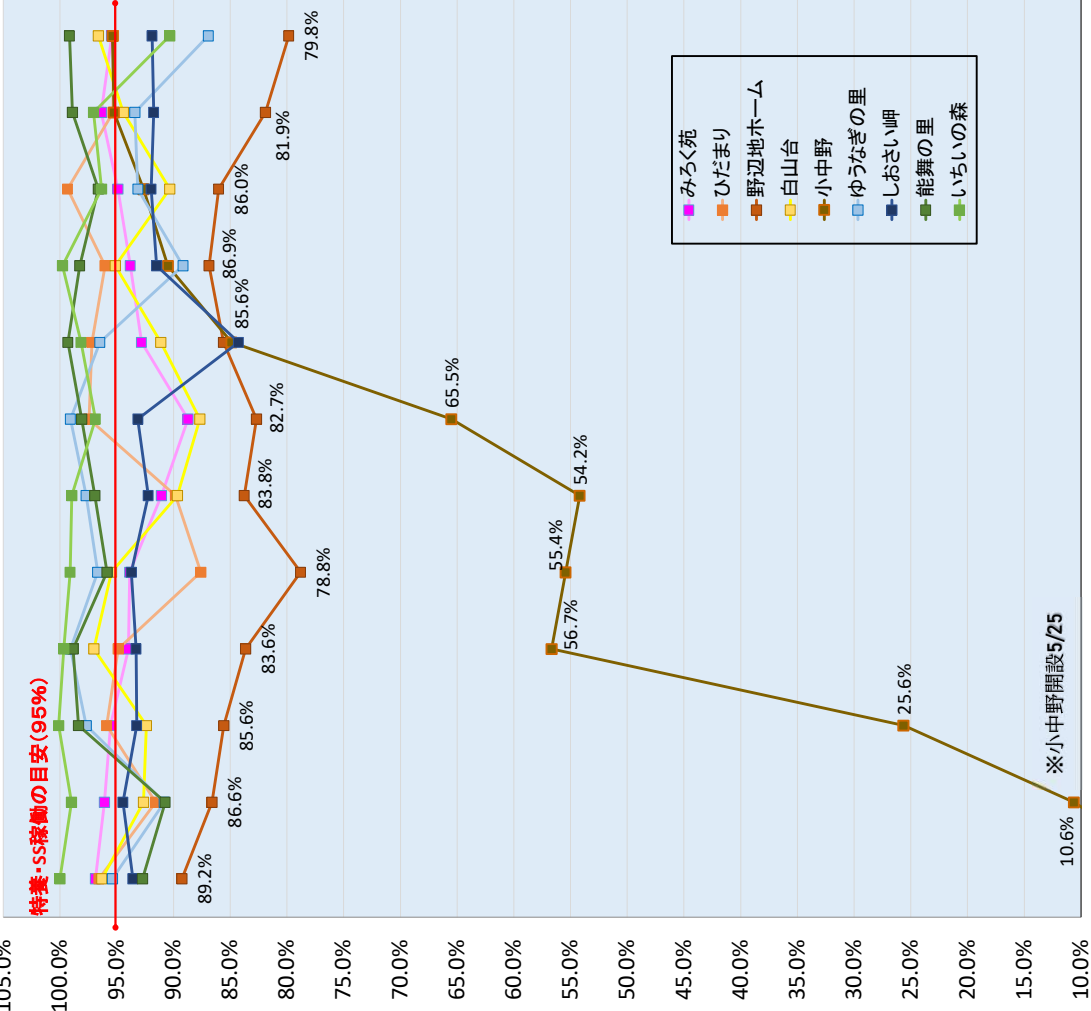
項目	特 養		シヨート		合 算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	29人	29人	0人	0人	29人	29人
稼働率	94.4%	96.0%	3.5%	2.6%	97.9%	98.5%

◎ラ・メール小中野

項目	特 養		シヨート		合 算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	39人	—	0人	—	39人	—
稼働率	77.5%	—	48.8%	—	70.2%	—

事業稼働率グラフ(特養)

稼働率



7. 稼働状況

○令和3年度 吉幸会事業実績一覧（GH・デイ・居宅・保育所）

【月当たり平均稼働率】

◎GHみろく苑

項目	GHみろく苑
今年度	前年度
定員	27人
稼働率	98.8%
	98.7%

◎GHみろくの郷

項目	けんど	かぐら	合算比
今年度	前年度	今年度	前年度
定員	9人	9人	18人
稼働率	96.0%	97.4%	96.7%
			95.7%

◎デイみろく

項目	デイ
今年度	前年度
定員	23人
稼働率	70.2%
	71.8%

◎居宅郷

項目	居宅郷
今年度	前年度
定員	140人
稼働率	76.2%
	79.3%

◎佐井村保育所

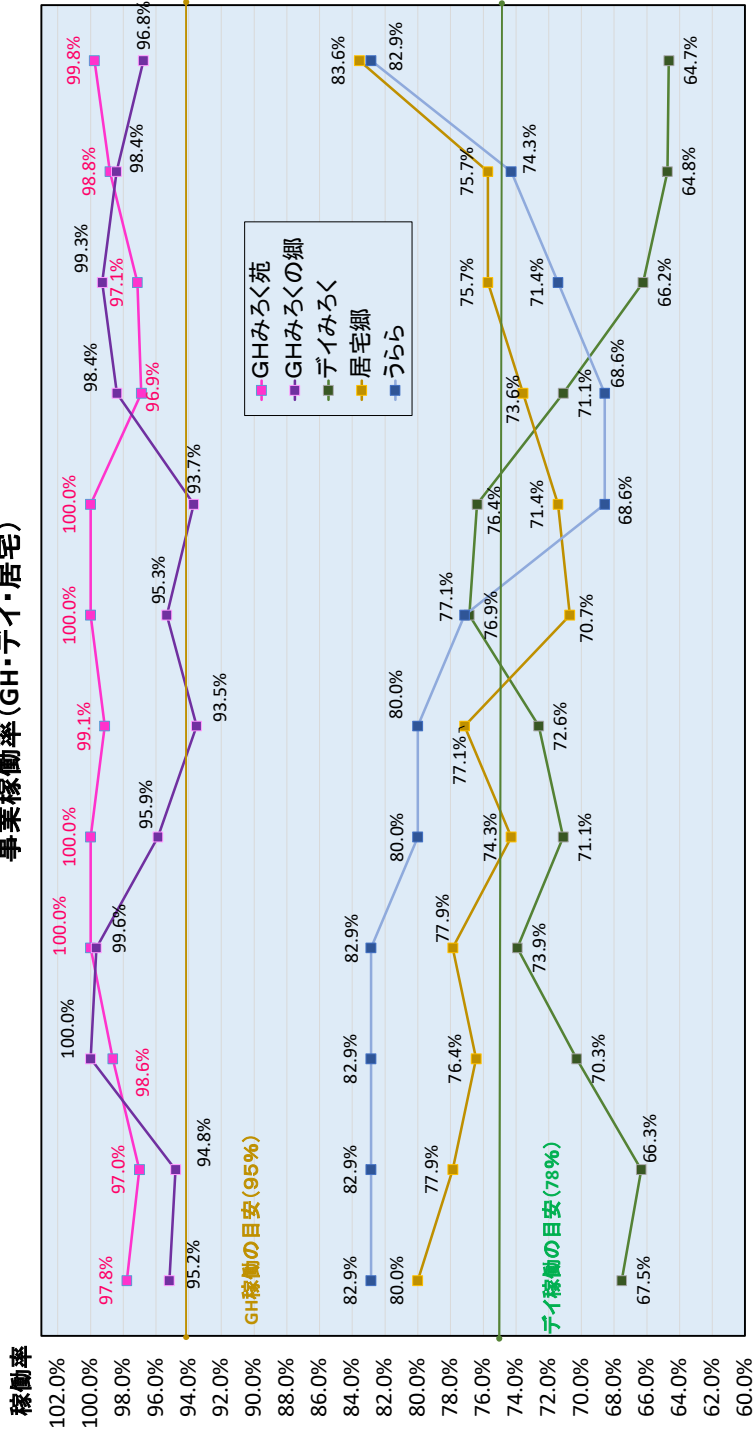
項目	前年比
今年度	前年度
児童数	27.8人
	33.5人

※グループホームの実績は短期利用者も含んでいます。

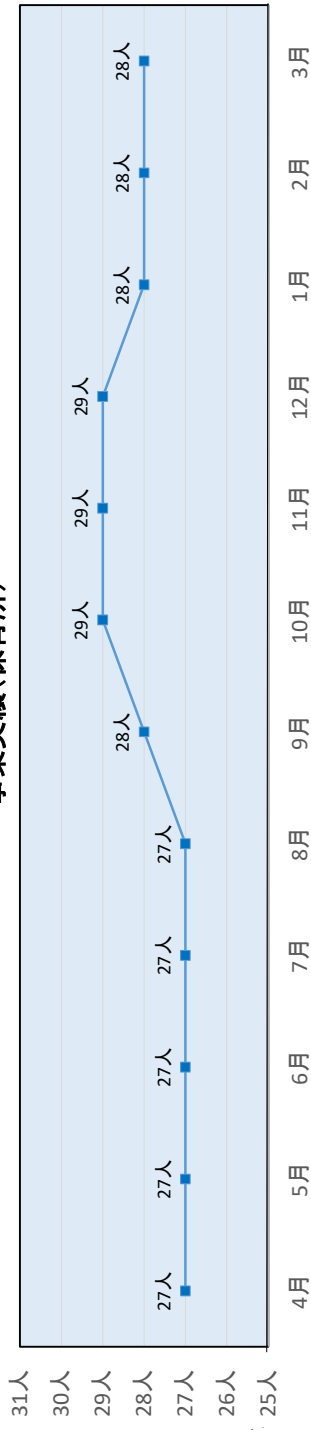
※ショートステイの実績には介護予防利用者も含んでいます

※端数は小数点第2位を四捨五入しています。

事業稼働率（GH・デイ・居宅）



事業実績（保育所）



8. 利用者の状況

- ①特養みろく苑
- ②SSみろく苑
- ③GHみろく苑
- ④SSGHみろく苑
- ⑤デイみろく苑
- ⑥GHみろく苑の郷けんど
- ⑦SSGHみろく苑の郷けんど

年 齢 別

特別養護老人ホームみろく苑				ショートステイみろく苑				グループホームみろく苑				短期利用グループホームみろく苑				デイサービスセンターみろく苑				グループホームみろく苑の郷けんど			
区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合
40～69歳	2人	2人	7.1%	40～69歳	1人	0人	1.6%	40～69歳	0人	0人	0.0%	40～69歳	4人	0人	4.0%	40～69歳	0人	0人	0.0%	40～69歳	0人	0人	0.0%
70～79歳	1人	0人	1.8%	70～79歳	1人	0人	1.6%	70～79歳	2人	2人	10.3%	70～79歳	0人	0人	0.0%	70～79歳	8人	5人	12.9%	70～79歳	0人	0人	0.0%
80～89歳	7人	21人	50.0%	80～89歳	9人	24人	53.3%	80～89歳	7人	11人	46.2%	80～89歳	1人	0人	0.0%	80～89歳	13人	36人	48.4%	80～89歳	2人	4人	46.2%
90歳以上	10人	13人	41.1%	90歳以上	11人	16人	43.5%	90歳以上	2人	15人	43.5%	90歳以上	0人	1人	50.0%	90歳以上	9人	26人	34.7%	90歳以上	2人	5人	53.8%
小計	20人	36人	／	小計	22人	40人	／	小計	11人	28人	／	小計	34人	67人	／	小計	4人	9人	／	小計	0人	1人	／
合計	56人			合計	62人			合計	39人			合計	2人			合計	101人			合計	13人		
平均年齢	86.4歳	87.7歳	全体	平均年齢	87.1歳	88.9歳	全体	平均年齢	84.3歳	89.3歳	87.9歳	平均年齢	83.0歳	92.0歳	87.5歳	平均年齢	84.9歳	86.8歳	86.2歳	平均年齢	87.3歳	92.3歳	90.9歳
男性			全体	男性			全体	男性			全体	男性			全体	男性			全体	男性			全体
女性			全体	女性			全体	女性			全体	女性			全体	女性			全体	女性			全体

保 険 者 別

特別養護老人ホームみろく苑				ショートステイみろく苑				グループホームみろく苑				SSGHグループホームみろく苑				デイサービスセンターみろく苑				グループホームみろく苑の郷けんど			
区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合
田子町	18人	28人	82.1%	田子町	20人	32人	83.8%	田子町	11人	28人	100.0%	田子町	1人	1人	100.0%	田子町	29人	60人	88.1%	田子町	4人	9人	100.0%
三戸町	2人	5人	12.5%	三戸町	1人	4人	8.1%	小計	11人	28人		小計	1人	1人		三戸町	3人	3人	5.9%	小計	4人	9人	
二戸市	0人	3人	5.4%	九戸村	1人	4人	8.1%	合計	39人			合計	2人			二戸市	2人	2人	4.0%	合計	13人		
小計	20人	36人		小計	22人	40人		小計	39人			小計	2人			八戸市	0人	2人	2.0%	小計	67人		
合計	56人			合計	62人			合計	62人			合計	101人			合計	101人						

要介護度別

特別養護老人ホームみろく苑	シヨースティみろく苑			グループホームみろく苑			SSGHグループホームみろく苑			デイサービスセンターみろく苑			グループホームみろくの郷けんど			GHSSみろくの郷けんど			
区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	支援	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合
要介護1	0人	2人	3.2%	要介護1	1人	0人	2.6%	要介護1	1人	0人	50.0%	要支援1	0人	1人	25.0%	要介護1	0人	0人	0.0%
要介護2	3人	8人	17.7%	要介護2	1人	8人	23.1%	要介護2	0人	1人	50.0%	要支援2	0人	3人	75.0%	要介護2	0人	0人	0.0%
要介護3	8人	13人	33.9%	要介護3	2人	12人	35.8%	要介護3	0人	0人	0.0%	小計	0人	4人	1.8	要介護3	1人	3人	30.7%
要介護4	8人	8人	25.8%	要介護4	4人	5人	23.1%	要介護4	0人	0人	0.0%	合計	4人			要介護4	2人	1人	23.1%
要介護5	3人	9人	19.4%	要介護5	3人	3人	15.4%	要介護5	0人	0人	0.0%	平均支援度	1.8			要介護5	0人	2人	15.4%
小計	22人	40人	3.4	小計	11人	28人	3.3	小計	1人	1人	1.5	介護	男性	女性	割合	小計	4人	9人	3.2
合計	62人			合計	39人	2人		要介護1	5人	16人		21.7%	合計	13人					
平均介護度	4.3		平均介護度	3.4		平均介護度	3.3	平均介護度	1.5		平均介護度	要介護2	10人	26人	37.1%	平均介護度	3.0		

※集計期間は、4月1日～3月31日までとしております。
※年齢は、3月31日を基準に算出しています。

特養みろく苑

全体の74.2%が田子町の被保険者である。要介護度4の利用者が多い。全体的に高齢化重度化が進んでいる。最年長者は103歳となっている。

SSみろく苑

要介護度3・4の利用者が多い。田子町、三戸市の方から利用いただいている。平均年齢も88歳を超えているなど高齢化重度化している。

GHみろく苑

地域密着型サービスの為、入居者はすべて田子町の方。男性4割、女性6割である。要介護2～4が8割以上を占め100歳を迎える入居者や101歳を超えて入居している方もいる。

SSGHみろく苑

退居や入院者の空きベッドを利用してサービス提供をしている。数日間の利用ニーズが少なく、利用者には要介護1の男性80歳代1名と要介護2の女性90歳代の1名だった。

デイみろく苑

利用者は田子町・三戸町・二戸市・八戸市の方々に田子町の市が9割。80歳代の利用者を中心。要支援から要介護まで幅広い利用者が利用しているが介護度1・2・4の利用者が多い。

GHみろくの郷けんど

地域密着型サービスの為、入居者は全て田子町の方である。要介護3の方が約3割を占めている。平均年齢も約90歳と高齢化しており、90歳以上は5割を占め、最年長者は104歳となっている。

SSGHみろくの郷けんど

地域密着型サービスの為、利用者は全て田子町の方で、104歳、女性1名の利用となっている。

まとめ

年 齢 別

⑧GHみろくの郷かぐち

グループホームみろくの郷かぐち			
区分	男性	女性	割合
40～69歳	1人	0人	7.7%
70～79歳	0人	2人	15.4%
80～89歳	2人	4人	46.1%
90歳以上	1人	3人	30.8%
小計	4人	9人	
合計	13人		
平均年齢	81.5歳	87.2歳	85.4歳

⑨SSGHみろくの郷かぐち

SSGHみろくの郷かぐち			
区分	男性	女性	割合
40～69歳	1人	0人	100.0%
70～79歳	0人	0人	0.0%
80～89歳	0人	0人	0.0%
90歳以上	0人	0人	0.0%
小計	1人	0人	
合計	1人		
平均年齢	69.3歳	—	69.3歳

⑩居宅みろくの郷

居宅介護支援センターみろくの郷			
区分	男性	女性	割合
40～69歳	4人	2人	3.2%
70～79歳	12人	12人	12.7%
80～89歳	33人	72人	55.9%
90歳以上	13人	40人	28.2%
小計	62人	126人	
合計	188人		
平均年齢	82.7歳	87.0歳	85.6歳

⑪うちら居宅

うちら居宅介護支援センター			
区分	男性	女性	割合
40～69歳	3人	0人	8.6%
70～79歳	3人	4人	20.0%
80～89歳	4人	12人	45.7%
90歳以上	3人	6人	25.7%
小計	13人	22人	
合計	35人		
平均年齢	79.6歳	87.1歳	84.2歳

⑫特養ひだまり

特別養護老人ホームひだまり			
区分	男性	女性	割合
40～69歳	0人	0人	0.0%
70～79歳	1人	2人	8.6%
80～89歳	3人	9人	34.3%
90歳以上	2人	18人	57.1%
小計	6人	29人	
合計	35人		
平均年齢	85.3歳	90.3歳	89.5歳

⑬SSひだまり

ショートステイひだまり			
区分	男性	女性	割合
40～69歳	1人	0人	1.5%
70～79歳	4人	2人	9.0%
80～89歳	14人	25人	58.2%
90歳以上	3人	18人	31.3%
小計	22人	45人	
合計	67人		
平均年齢	83.3歳	87.6歳	86.4歳

⑭特養ラ・メール白山台

特別養護老人ホームラ・メール白山台			
区分	男性	女性	割合
40～69歳	2人	1人	8.1%
70～79歳	2人	3人	13.5%
80～89歳	6人	10人	43.3%
90歳以上	1人	12人	35.1%
小計	11人	26人	
合計	37人		
平均年齢	78.3歳	88.2歳	83.3歳

保 険 者 別

グループホームみろくの郷かぐち			
区分	男性	女性	割合
田子町	4人	9人	100.0%
小計	4人	9人	
合計	13人		

SSGHみろくの郷かぐち			
区分	男性	女性	割合
田子町	1人	0人	100.0%
小計	1人	0人	
合計	1人		

居宅介護支援センターみろくの郷			
区分	男性	女性	割合
田子町	62人	119人	96.2%
三戸町	0人	5人	2.7%
南部町	0人	0人	0.0%
二戸市	0人	2人	1.1%
小計	62人	126人	
合計	188人		

うちら居宅介護支援センター			
区分	男性	女性	割合
田子町	1人	0人	2.9%
三戸町	12人	21人	94.3%
南部町	0人	1人	2.9%
二戸市	0人	0人	0.0%
小計	13人	22人	
合計	35人		

特別養護老人ホームひだまり			
区分	男性	女性	割合
五戸町	6人	29人	100.0%
小計	6人	29人	
合計	35人		

ショートステイひだまり			
区分	男性	女性	割合
五戸町	11人	27人	56.6%
新郷村	2人	4人	9.0%
三戸町	1人	3人	6.0%
田子町	1人	5	9.0%
おいらせ町	1人	0	1.5%
八戸市	4人	5	13.4%
十和田市	1人	0	1.5%
二戸市	1人	1人	3.0%
小計	22人	45人	
合計	67人		

特別養護老人ホームラ・メール白山台			
区分	男性	女性	割合
八戸市	11人	26人	100.0%
小計	11人	26人	
合計	37人		

要介護度別

グループホームみろくの郷かぐち				SSGHみろくの郷かぐち				居宅介護支援センターみろくの郷				うらら居宅介護支援センター				特別介護老人ホームひだまり				シヨースティひだまり				特別介護老人ホームラ・メール白山台			
区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合
要介護1	0人	0人	0.0%	要介護1	0人	0人	0.0%	要介護1	13人	24人	19.7%	要支援1	1人	0人	3.0%	要介護1	0人	0人	0.0%	要介護1	4人	7人	16.5%	要介護1	0人	0人	0.0%
要介護2	0人	1人	7.7%	要介護2	0人	0人	0.0%	要介護2	13人	41人	28.6%	要支援2	0人	0人	0.0%	要介護2	0人	2人	5.7%	要介護2	3人	10人	19.4%	要介護2	0人	0人	0.0%
要介護3	3人	6人	69.2%	要介護3	0人	0人	0.0%	要介護3	11人	29人	21.3%	要介護1	2人	4人	18.2%	要介護3	0人	2人	5.7%	要介護3	5人	4人	13.4%	要介護3	1人	6人	18.9%
要介護4	1人	1人	15.4%	要介護4	1人	0人	100.0%	要介護4	12人	18人	16.0%	要介護2	2人	7人	27.3%	要介護4	6人	12人	51.5%	要介護4	7人	18人	37.3%	要介護4	5人	12人	46.0%
要介護5	0人	1人	7.7%	要介護5	0人	0人	0.0%	要介護5	13人	14人	14.4%	要介護3	2人	3人	15.2%	要介護5	0人	13人	37.1%	要介護5	3人	6人	13.4%	要介護5	5人	8人	35.1%
小計	4人	9人	3.2	小計	1人	0人	4.0	小計	62人	126人	2.8	要介護4	3人	5人	24.2%	小計	6人	29人	4.2	小計	22人	45人	3.1	小計	11人	26人	4.2
合計	13人			合計	1人			合計	188人			要介護5	2人	2人	12.1%	合計	35人			合計	67人			合計	37人		
平均介護度			3.2	平均介護度			4.0	平均介護度			2.8	平均介護度			2.8	平均介護度			4.2	平均介護度			3.1	平均介護度			4.2

GHみろくの郷かぐち
地域密着型サービスの為、入居者は全て出子町の方である。要介護3の方が7割弱を占めており、平均年齢も86歳と高齢化し、最年長者は96歳となっている。

SSGHみろくの郷かぐち
地域密着型サービスの為、利用者は全て出子町の方で、69歳男性1名の利用となっている。

居宅みろくの郷
田子町在住の利用者が9割以上となっている。80歳以上が約8割となっており、独居や高齢者世帯が多くなっていることから、居宅サービスの利用に向けて多くの施設入所に向けた対応を盛り込めないケースが増えてきている。

うらら居宅
利用者はほぼ三戸町住民であり、80歳代が半数を占め、次いで90代が多い。女性はやや軽度から、男性は重度化しているものの申請が多い。高齢者夫婦・単身世帯が多くなり経済的に難しい状況が増えている。他、家族の問題も増えている。

特別介護老人ホームひだまり
地域密着型であるため入所者は全て五戸町。90代以上の利用者が半数以上を占め、要介護4又は5の入所者が8割を占めている。

シヨースティひだまり
五戸町の利用者が5割を占め、次いで八戸市、新郷村、田子町となっており、要介護4又は5の利用者が半数を占めている。

特別介護老人ホームラ・メール白山台
地域密着型であるため入所者は全て八戸市。80代以上の利用者が中心。要介護4又は5の入所者が8割を占めている。

GHみろくの郷かぐち
地域密着型サービスの為、入居者は全て出子町の方である。要介護3の方が7割弱を占めており、平均年齢も86歳と高齢化し、最年長者は96歳となっている。

SSGHみろくの郷かぐち
地域密着型サービスの為、利用者は全て出子町の方で、69歳男性1名の利用となっている。

居宅みろくの郷
田子町在住の利用者が9割以上となっている。80歳以上が約8割となっており、独居や高齢者世帯が多くなっていることから、居宅サービスの利用に向けて多くの施設入所に向けた対応を盛り込めないケースが増えてきている。

うらら居宅
利用者はほぼ三戸町住民であり、80歳代が半数を占め、次いで90代が多い。女性はやや軽度から、男性は重度化しているものの申請が多い。高齢者夫婦・単身世帯が多くなり経済的に難しい状況が増えている。他、家族の問題も増えている。

特別介護老人ホームひだまり
地域密着型であるため入所者は全て五戸町。90代以上の利用者が半数以上を占め、要介護4又は5の入所者が8割を占めている。

シヨースティひだまり
五戸町の利用者が5割を占め、次いで八戸市、新郷村、田子町となっており、要介護4又は5の利用者が半数を占めている。

特別介護老人ホームラ・メール白山台
地域密着型であるため入所者は全て八戸市。80代以上の利用者が中心。要介護4又は5の入所者が8割を占めている。

※集計期間は、4月1日～3月31日までとしております。
※年齢は、3月31日を基準に算出しています。

年 齢 別

⑮SSラ・メー ル白山台

ショーステイラ・メー ル白山台			
区分	男性	女性	割合
40～49歳	1人	2人	4.5%
70～79歳	9人	6人	22.7%
80～89歳	8人	26人	51.6%
90歳以上	5人	9人	21.2%
小計	23人	43人	
合計	66人		
平均年齢	男性	女性	全体
	82.5歳	87.2歳	84.9歳

⑯ラ・メー ル小中野

特別養護老人ホームラ・メール小中野				
区分	男性	女性	割合	
40～49歳	0人	0人	0.0%	
70～79歳	1人	2人	9.7%	
80～89歳	6人	13人	61.3%	
90歳以上	1人	8人	29.0%	
小計	8人	23人		
合計	31人			
平均年齢	男性	女性	全体	
	84.8歳	87.8歳	86.9歳	

⑰SSラ・メー ル小中野

シヨートステイラ・メー ル小中野			
区分	男性	女性	割合
40～49歳	0人	2人	4.3%
70～79歳	0人	5人	10.9%
80～89歳	11人	15人	56.5%
90歳以上	4人	9人	28.3%
小計	15人	31人	
合計	46人		
平均年齢	男性	女性	全体
	86.0歳	84.9歳	85.5歳

⑱特養野辺地ホーム

特別養護老人ホーム野辺地ホーム			
区分	男性	女性	割合
40～49歳	0人	1人	1.3%
70～79歳	5人	4人	11.7%
80～89歳	4人	18人	28.6%
90歳以上	5人	40人	58.4%
小計	14人	63人	
合計	77人		
平均年齢	男性	女性	全体
	83.7歳	90.0歳	88.8歳

⑲SS野辺地ホーム

ショートステイ野辺地ホーム			
区分	男性	女性	割合
40～49歳	0人	0人	0.0%
70～79歳	0人	0人	0.0%
80～89歳	1人	3人	33.3%
90歳以上	1人	7人	66.7%
小計	2人	10人	
合計	12人		
平均年齢	男性	女性	全体
	89.0歳	91.7歳	91.3歳

⑳特養ゆうなぎの里

特別養護老人ホームゆうなぎの里			
区分	男性	女性	割合
40～49歳	1人	1人	4.1%
70～79歳	3人	1人	8.1%
80～89歳	7人	12人	38.8%
90歳以上	7人	17人	49.0%
小計	18人	31人	
合計	49人		
平均年齢	男性		女性
	85.1歳	89.3歳	全体 88.0歳

㉑SSゆうなぎの里

シヨートステイゆうなぎの里			
区分	男性	女性	割合
40～49歳	2人	0人	12.5%
70～79歳	0人	1人	6.3%
80～89歳	2人	5人	43.7%
90歳以上	0人	6人	37.5%
小計	4人	12人	
合計	16人		
平均年齢	男性	女性	全体
	82.8歳	83.3歳	83.4歳

保 険 者 別

ショートステイラ・メー ル白山台			
区分	男性	女性	割合
八戸市	21人	41人	94.0%
階上町	1人	1人	3.0%
五戸町	1人	0人	1.5%
むつ市	0人	1人	1.5%
小計	23人	43人	
合計	66人		

特別養護老人ホームラ・メー ル小中野			
区分	男性	女性	割合
八戸市	8人	23人	100.0%
小計	8人	23人	
合計	31人		

ショートステイラ・メール小中野			
区分	男性	女性	割合
八戸市	11人	30人	89.0%
新郷村	1人	0人	2.2%
五戸町	1人	0人	2.2%
盛岡市	1人	0人	2.2%
三戸地区	1人	0人	2.2%
三戸町	0人	1人	2.2%
小計	15人	31人	
合計	46人		

特別養護老人ホーム野辺地ホーム	区分	男性	女性	割合
	野辺地町	11人	55人	85.7%
	六ヶ所村	1人	4人	6.5%
	横浜町	1人	2人	3.9%
	東北町	1人	1人	2.6%
	青森市	0人	1人	1.3%
	小計	14人	63人	
	合計	77人		

ショートステイ野辺地ホーム			
区分	男性	女性	割合
野辺地町	2人	9人	91.7%
亘内町	0人	1人	8.3%
小計	2人	10人	
合計	12人		

特別養護老人ホームゆうなぎの里			
区分	男性	女性	割合
佐井村	6人	18人	49.1%
大間町	6人	5人	22.4%
風間浦村	4人	4人	16.3%
むつ市	2人	4人	12.2%
小計	18人	31人	
合計	49人		

ショートステイゆうなぎの里			
区分	男性	女性	割合
佐井村	0人	7人	43.8%
大間町	3人	3人	37.5%
風間浦村	0人	2人	12.5%
むつ市	1人	0人	6.2%
小計	4人	12人	
合計	16人		

要介護度別

ショートステイラ・メール白山台					ショートステイラ・メール小中野					特別養護老人ホームラ・メール小中野					ショートステイラ・フィールドホーム					特別養護老人ホーム野辺地ホーム					ショートステイゆうなぎの里				
区分	男性	女性	割合		区分	男性	女性	割合		区分	男性	女性	割合		区分	男性	女性	割合		区分	男性	女性	割合		区分	男性	女性	割合	
要介護1	3人	5人	12.1%		要介護1	0人	0人	0.0%		要介護1	0人	0人	0.0%		要介護1	0人	0人	0.0%		要介護1	0人	0人	0.0%		要介護1	0人	0人	0.0%	
要介護2	4人	6人	15.2%		要介護2	0人	3人	6.5%		要介護2	0人	0人	0.0%		要介護2	0人	0人	0.0%		要介護2	0人	0人	0.0%		要介護2	0人	0人	0.0%	
要介護3	7人	16人	34.9%		要介護3	1人	5人	19.4%		要介護3	3人	5人	10.4%		要介護3	0人	0人	0.0%		要介護3	7人	8人	30.6%		要介護3	0人	2人	12.5%	
要介護4	4人	12人	24.2%		要介護4	4人	9人	41.9%		要介護4	5人	23人	36.4%		要介護4	0人	4人	33.3%		要介護4	5人	18人	47.0%		要介護4	1人	2人	18.8%	
要介護5	5人	4人	13.6%		要介護5	3人	9人	38.7%		要介護5	6人	35人	53.2%		要介護5	1人	3人	33.3%		要介護5	6人	5人	22.4%		要介護5	1人	0人	6.3%	
小計	23人	43人			要介護4	3人	7人	21.7%		小計	14人	63人			小計	18人	31人			小計	18人	31人			小計	1人	4人	31.2%	
合計	66人				要介護5	0人	3人	6.5%		合計	77人				合計	49人				合計	49人				合計	1人	4人	31.2%	
平均介護度			3.1		平均介護度			4.2		平均介護度			4.4		平均介護度			3.9		平均介護度			3.9		平均介護度			3.5	

※集計期間は、4月1日～3月31日までとしております。
※年齢は、3月31日を基準に算出しています。

$$H \sim \mathbb{Z}$$

SSラ・メール白山台	SSラ・メール小中野	SSラ・メール小中野	特養野辺地ホーム	SS野辺地ホーム	特養ゆうなぎの里	SSゆうなぎの里
八戸市の利用者が中心となっており、昨年度と比較すると、70歳代の利用者が増える。要介護2の利用者が10%減し、要介護5の利用者が5%増えた。利用の中心は要介護3から4である。	地域密着型であるため入所者は全て八戸市。以上の利用者が中心。要介護4又は5の入所者が8割を占めている。	八戸市の利用者が中心となっており、昨年度と比較すると、80代以上の利用者が8割を占めている。利用の中心は要介護3から4である。	全体の8割以上が野辺地町の利用者である。介護度別では要介護5の利用者が全体の半数以上を占め、寝たきりの方、経管栄養の方が多いため、重度化がさらに進んでいる。	利用者のうち9割以上の方が野辺地町に住んでいる。平内町の方であったが、平内町の利用者が増えつつある。年齢は平均で90歳を超えている。	平均介護度：3.9となり、平均年齢は88歳となっている。市町村別では、約半数が佐井村の方となっている。	佐井村、大間町の利用者が多く、80歳以上の方が半数以上となっている。平均介護度は3.5となっている。

年 齢 別

㊤特養しおさい岬				㊤SSしおさい岬				㊤能舞の里				㊤SS能舞の里				㊤特養いちいの森				㊤SSいちいの森			
特別養護老人ホームしおさい岬				シヨーステイしおさい岬				特別養護老人ホーム能舞の里				シヨーステイ能舞の里				特別養護老人ホームいちいの森				シヨーステイいちいの森			
区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合
40～69歳	0人	3人	8.3%	40～69歳	2人	1人	7.9%	40～69歳	0人	1人	2.9%	40～69歳	0人	0人	0.0%	40～69歳	1人	0人	0.0%	40～69歳	0人	0人	0.0%
70～79歳	2人	4人	16.7%	70～79歳	6人	5人	29.0%	70～79歳	1人	2人	8.8%	70～79歳	3人	7人	18.2%	70～79歳	2人	1人	8.6%	70～79歳	1人	0人	10.0%
80～89歳	6人	12人	50.0%	80～89歳	4人	10人	36.8%	80～89歳	2人	12人	41.2%	80～89歳	14人	16人	54.5%	80～89歳	6人	9人	42.8%	80～89歳	2人	2人	40.0%
90歳以上	1人	8人	25.0%	90歳以上	2人	8人	26.3%	90歳以上	3人	13人	47.1%	90歳以上	3人	12人	27.3%	90歳以上	2人	14人	45.7%	90歳以上	0人	5人	50.0%
小計	9人	27人	／	小計	14人	24人	／	小計	6人	28人	／	小計	20人	35人	／	小計	11人	24人	／	小計	3人	7人	／
合計	36人			合計	38人			合計	34人			合計	55人			合計	35人			合計	10人		
平均年齢	85.0歳		全体	平均年齢	78.5歳		全体	平均年齢	88.2歳		全体	平均年齢	81.0歳		全体	平均年齢	83.0歳		全体	平均年齢	84.0歳		全体

保 険 者 別

特別養護老人ホームしおさい岬				シヨーステイしおさい岬				特別養護老人ホーム能舞の里				シヨーステイ能舞の里				特別養護老人ホームいちいの森				シヨーステイホームいちいの森			
区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合
大間町	2人	9人	30.6%	大間町	4人	6人	26.3%	東通村	6人	28人	100.0%	東通村	7人	13人	36.4%	東通村	11人	24人	100.0%	東通村	2人	7人	90.0%
風間浦村	4人	8人	33.3%	風間浦村	4人	3人	18.4%	小計	6人	28人		むつ市	13人	22人	63.6%	むつ市	11人	24人		むつ市	1人	0人	10.0%
佐井村	3人	10人	36.1%	佐井村	2人	10人	31.6%	合計	34人			小計	20人	35人	合計	35人					小計	3人	7人
小計	9人	27人		小計	4人	5人	23.7%	合計				合計	55人			合計					合計	10人	
合計	36人			合計	38人																		

呆金審判

要介護度別

特別養護老人ホームしおさい岬			
区分	男性	女性	割合
要介護1	0人	0人	0.0%
要介護2	0人	0人	0.0%
要介護3	3人	7人	27.8%
要介護4	4人	11人	41.7%
要介護5	3人	8人	30.5%
小計	10人	26人	
合計	36人		
平均介護度			4.0

ショートステイしおさい岬			
区分	男性	女性	割合
要支援1	0人	0人	0.0%
要支援2	0人	1人	2.6%
要介護1	3人	2人	13.2%
要介護2	6人	5人	29.0%
要介護3	3人	4人	18.4%
要介護4	2人	8人	26.3%
要介護5	0人	4人	10.5%
小計	14人	24人	
合計	38人		
平均介護度			2.8

特別養護老人ホーム能舞の里			
区分	男性	女性	割合
要支援1	0人	0人	0.0%
要支援2	0人	0人	0.0%
要介護1	0人	0人	0.0%
要介護2	0人	0人	0.0%
要介護3	2人	11人	38.2%
要介護4	2人	10人	35.3%
要介護5	2人	7人	26.5%
小計	6人	28人	
合計	34人		
平均介護度			3.9

ショートステイ能舞の里			
区分	男性	女性	割合
要支援1	0人	0人	0.0%
要支援2	0人	2人	3.6%
要介護1	2人	6人	14.5%
要介護2	6人	10人	29.1%
要介護3	8人	8人	29.1%
要介護4	1人	8人	16.4%
要介護5	3人	1人	7.3%
小計	20人	35人	
合計	55人		
平均介護度			2.7

特別養護老人ホームいちいの森			
区分	男性	女性	割合
要介護1	0人	0人	0.0%
要介護2	0人	0人	0.0%
要介護3	3人	5人	22.9%
要介護4	4人	10人	40.0%
要介護5	4人	9人	37.1%
小計	11人	24人	
合計	35人		
平均介護度			4.1

ショートステイいちいの森			
区分	男性	女性	割合
要支援1	0人	0人	0.0%
要介護1	1人	1人	20.0%
要介護2	0人	2人	20.0%
要介護3	1人	4人	50.0%
要介護4	1人	0人	10.0%
要介護5	0人	0人	0.0%
小計	3人	7人	
合計	10人		
平均介護度			2.5

※集計期間は、4月1日～3月31日までとしております。
※年齢は、3月31日を基準に算出しています。

特養しおさい岬

大間町・風間浦村・佐井村の利用者で、要介護4・5の割合が72.2%を占めている。

SSしおさい岬

大間町、風間浦村、佐井村、むつ市の利用者となっているのは最も利用が多いのは佐井村の利用者で全体の3割を超えている。

特養能舞の里

地域密着型施設のため、利用者は全て東通村である。80歳から90歳以上の占める割合が90%弱となっており、要介護度も3・4が全体の4分の3を占め、4分の1が要介護5となっている。

SS能舞の里

むつ市の利用者が全体の60%強を、40%弱を東通村の利用者が占めている。また、80歳から90歳以上の方が80%強を占め、要介護度は2～4が全体の4分の3弱を占めている。

特養いちいの森

地域密着型であるため入所者は全て東通村である。ほぼ80歳以上。加算取得のため要介護4、5度の方の入所を多くしている。

SSいちいの森

空床利用のみのSS。特養入所者の入退院・入退所でほぼ1～2床をショートステイで活用している。利用はリピーター利用者の割合が多く、要介護3が多い。

まとめ

9. 各事業の行事实施状況

①行事の実施状況（三八上北エリア）

	特養みろく苑	デイみろく苑	GH みろく苑	GH みろくの郷
4 月	創立祭	創立祭	創立祭 お花見会	お花見会
5 月	母の日 ホットケーキ作り	こどもの日 母の日	端午の節句 母の日 田子町チャレンジデ ー参加	端午の節句 母の日
6 月	父の日	父の日	ドライブ 父の日を祝う会	父の日
7 月	七夕 特養夏祭り	七夕 ミニ年輪ピック	七夕	七夕
8 月	ミニ花火大会	デイ縁日（夏祭り）	GH ミニ夏祭り	夕涼み会
9 月	特養敬老会	お月見会 デイ敬老会	GH 敬老会	敬老会
10 月	秋の味覚を楽しむ会 ハロウィンを楽しむ 会	旬の味覚を味わう会 （焼き魚会） たっこひとくるめや 文化祭見学 ハロウィンパーティ	紅葉ドライブ ハロウィンを楽しむ 会 田子町たっこひとく るめや文化祭見学	たっこひとくるめや 文化祭見学 紅葉ドライブ
11 月	スイーツ作り		紅葉ドライブ	鍋パーティー
12 月	特養クリスマス・忘年 会 年越しを楽しむ会	クリスマス忘年会	クリスマス忘年会 年越しを楽しむ会	クリスマス忘年会 年越しを楽しむ会
1 月	新年を楽しむ会 なべっこ団子作り	新年を楽しむ会	春祈祷 新年を楽しむ会	新年を楽しむ会
2 月	節分・豆まき	節分 バレンタインデー	節分 バレンタインデー	節分 バレンタインデー
3 月	ひな祭り	ひな祭り ホワイトデー	ひな祭り ホワイトデー	ひな祭り
その他 随時実施	毎月の誕生会	毎月の誕生会 ショッピング プチドライブ 料理クラブ	毎月の誕生会 プチドライブ おやつ作り	毎月の誕生会 プチドライブ

②行事の実施状況（三八上北エリア）

	ひだまり	野辺地ホーム	ラ・メール白山台	ラ・メール小中野
4 月	季節を感じる、紙ちぎり貼り絵工作 4/20・花見ドライブ 4/22～23	4 月茶話会 4/14		
5 月	母の日 5/9 こいのぼりを作ろう 5/18・風船バレー（平日複数回開催）	5 月誕生茶話会 5/12		事業開始 5/25
6 月	ひだまり農園開園 6/2 バイキングだよ！全員集合 6/23・	6 月茶話会 6/16		
7 月	8 周年創立祭 7/1	7 月茶話会 7/14		七夕・夕涼み会 7/7
8 月	流しそうめん 8/4、11 夏祭り 8/21 スイカ割 8/28	夏祭り（沖上げ音頭、笹踊り）8/18	バーベキューを楽しむ会 8/30	
9 月	敬老会 9/22 シャボン玉飛んだ（平日複数回開催）	9 月茶話会 9/15		敬老会 9/25
10 月	ジャンクオーランタンづくり 10/21	10 月茶話会 10/13		ドライブ 10/1-30
11 月	月見バーガーできました 11/26	11 月茶話会（横浜手踊り保存会）11/10		運動会 11/14
12 月	クリスマスパーティ 12/24	12 月忘年会茶話会・クリスマス会（車イスダンス）12/22	クリスマス会 12/25 年越しを楽しむ会 12/31	クリスマス会 12/14
1 月	餅つき会 1/7 黒ひげ危機一髪 1/23	1 月茶話会 1/12	新年会 1/24	のど自慢大会 1/24
2 月	節分 2/4	2 月茶話会（豆まき・鬼退治ゲーム）2/2		節分 2/3
3 月	桃の節句 3/3	3 月茶話会（ひな祭り）3/2		ひな祭り 3/2
その他 随時実施	料理クラブ 誕生会		おやつ作り 軽体操 誕生日会	おやつ作り 軽体操 誕生日会

③行事の実施状況（むつ下北エリア）

	ゆうなぎの里	しおさい岬
4 月	クッキングクラブ（カレー作り）4/28 花見ドライブ 4/21. 24. 25. 27	ポストカードでお花作り（大正）4/20 生け花の会 4/21 毎週金曜 ラジオ体操
5 月	各ユニット植樹祭 5/14. 25. 20. 31	お誕生日会（大正）5/1 かしわ餅作り 5/19 毎週金曜 ラジオ体操
6 月	植樹祭 6/2 クッキングクラブ （お弁当・けんちん汁作り）6/16 運動会 6/30	フルーツ狩り 6/16 毎週金曜 ラジオ体操
7 月	クッキングクラブ（ピザ作り）7/14 夏祭り 7/21	創立祭&夏祭り 7/21 毎週金曜 ラジオ体操
8 月	クッキングクラブ（煮しめ作り）8/11	かき氷&シェーク屋さん 8/13 毎週金曜 ラジオ体操
9 月	秋祭り 9/15 チリンチリンアイスアイス屋さん 9/15 クッキングクラブ（餃子作り）9/29	アイスクリーム屋さん 9/10 五平餅作り（稲荷・弁天）9/15 月見団子作り（仁和賀・大正）9/22 機能訓練菊の花作り 9月～ 毎週金曜 ラジオ体操
10 月	クッキングクラブ （いももちすいとん作り）10/27	鍋作り 10/13 ハロウィンケーキバイキング 10/29 毎週金曜 ラジオ体操
11 月	敬老会 11/10 クッキングクラブ （グラタン・肉まん作り）11/24	敬老会 11/17 毎週金曜 ラジオ体操
12 月	としな作り 12/16 クッキングクラブ （クリスマスケーキ作り）12/22 クリスマス会 12/24 餅つき 12/28	たこ焼き屋さん 12/8 クリスマス会 12/22 毎週金曜 ラジオ体操
1 月	生け花 1/2	サイコロ抽選会 1/1 生け花会 1/19 毎週金曜 ラジオ体操
2 月	節分ゲーム大会 2/2 ラーメン屋さん 2/16	豆まき 2/3 パンケーキ屋さん 2/9 毎週水曜 ラジオ体操
3 月	居酒屋 3/30	ひなまつりスイーツバイキング 3/2 毎週水曜 ラジオ体操
その他 随時実施		誕生日会 ドライブ おやつ作り 買い物 カラオケ

④行事の実施状況（むつ下北エリア）

	能舞の里	いちいの森	佐井村保育所
4 月	4/29 昭和の日(特別献立)	4/21 お花見ドライブ	4/1 入所式 4/22 歯科検診 4/23 懇談会・総会 4/27 避難訓練 4/28 お花見会
5 月	5/5 こどもの日（特別献立）	5/14 菜の花レクリエーション	5/21 内科検診 5/25 避難訓練
6 月	6/25 手作りおやつの日 （あじさいゼリー）	6/30 いちいの森 大運動会	6/3 赤十字登録式 6/26 運動会 6/28 避難訓練
7 月	7/7 七夕会（特別献立） 7/28 土用の丑（特別献立）	7/7 七夕納涼祭	7/7 七夕集会 7/26 プール開き 7/27 避難訓練 7/31 夕涼み会
8 月	8/13 お盆（特別献立） 8/26 創立祭（特別献立） 馬鈴薯、野菜収穫祭	8/6 いちいの森 夏祭り	8/12 いもほり 8/30 避難訓練
9 月	9/15 敬老会（特別献立）	9/29 いちいの森 敬老会	9/30 避難訓練
10 月		10/1 創立祭	10/5 内科検診 10/13 さつまいもほり 10/14 歯科検診 10/20 総合避難訓練 10/22 保育懇談会
11 月	11/17 非常食メニュー実施	11/25 お菓子作り(さつま芋の 茶巾絞り)	11/13 発表会 11/16 秋の自然を楽しもう (4.5 歳児) 11/18 だいこんほり 11/30 避難訓練
12 月	12/24 クリスマス会 （特別献立） 12/31 年末（特別献立）	12/21 クリスマス会	12/22 避難訓練 12/23 クリスマス会
1 月	1/1 元日（特別献立）		1/14 新年子ども会 1/27 避難訓練 1/31 こま回し大会
2 月	2/3 節分（特別献立）	2/3 節分レクリエーション 2/14 バレンタイン茶話会	2/3 節分豆まき会 2/18 個人面談 2/26 避難訓練
3 月	3/3 ひなまつり昼食 おやつバイキング	3/3 ひな祭り茶話会	3/3 ひな祭り会 3/12 修了式 3/23 お別れ会 3/24 避難訓練
その他 随時実施	誕生会 カラオケ 郷土芸能ビデオ視聴		

⑤行事食の状況 ※一部抜粋

みろく苑	GH みろく苑	GH みろくの郷
4/20 創立祭 赤飯、天ぷら、焼き物、炊き合わせ、 和え物、茶碗蒸し、すまし汁	4/20 創立祭 赤飯、吸い物、天ぷら、煮しめ、 花形豆腐ハンバーグ、茶碗蒸し、 大根なます、桜ゼリー	
7/7 七夕 わかめおにぎり、七夕そうめん、 星のハンバーグ、七夕ゼリー、 果物(オレンジ)	7/7 七夕 七夕ソーメン、星形ハンバーグ、 しめじと生揚げの煮物、星形杏仁豆腐 ミックス	7/7 七夕 七夕そうめん、ハンバーグ、 しめじと生揚げの煮物、いちごゼリー
7/28 土用丑の日 うなぎ丼、大根と竹輪の煮物、 きゅうりと若布の酢の物、みそ汁、 果物(スイカ)	7/28 土用丑の日 うなぎ、すまし汁、焼きなす、 果物(スイカ)	7/28 土用丑の日 うなぎ、すまし汁、焼きなす、 果物(スイカ)
	8/14 お盆 赤飯、すまし汁、天ぷら、 煮しめ、ところ天	8/14 お盆 赤飯・すまし汁、天ぷら、 煮しめ、ところ天
9/21 敬老会 雲丹ごはん、焼き物、揚げ物、煮物、 和え物、香の物、果物(オレンジ)、 すまし汁、紅白まんじゅう	9/15 敬老会 赤飯、吸物、キンメダイの西京焼き、 天ぷら、煮しめ、茶碗蒸し、ミニグラ タン、大根なます、紅白ゼリー	9/15 敬老会 赤飯、吸い物、キンメダイの西京焼き、 天ぷら、煮しめ、茶碗蒸し、ミニグラ タン、大根なます、オレンジゼリー
12/17 忘年会 ちらし寿司、すまし汁、赤魚の煮付け、 茶碗蒸し、果物(いちご)	12/24 クリスマス えびピラフ、わかめのスープ、 鶏唐揚げ、ミニグラタン、 フルーツポンチ	12/25 クリスマス えびピラフ、わかめのスープ、 鶏のから揚げ、ミニグラタン、 フルーツポンチ、ケーキ
12/31 大晦日 炊き込みご飯、金目鯛の煮付け、 長芋のゆかり和え、しば漬、 年越しそば	12/31 大晦日 赤飯、年越しそば、刺身、天ぷら、 煮しめ、茶わん蒸し、きゅうり漬け	12/31 大晦日 ご飯、年越しそば、刺身、天ぷら、 煮しめ、茶わん蒸し、きゅうり漬け
1/1 正月 赤飯、天ぷら、煮物、和え物、 いちご煮	1/1 正月 赤飯、すまし汁、鶏肉の八幅巻き、 キンメダイの西京焼き、黒花豆の煮 物、フルーツ (みかん)	
2/3 節分 太巻きといなり寿司、白身魚フラ イ、煮物、菜の花辛し和え すまし汁、季節和菓子	2/3 節分 太巻き、いなり寿司、吸い物、 エビフライ、茶碗蒸し	2/2 節分 太巻き、いなり寿司、吸い物、 えびフライ、茶わん蒸し
3/3 ひな祭 ちらし寿司、鮭のチーズフライ、 和え物、すまし汁、ひなあられ	3/3 ひな祭 ちらし寿司、すまし汁、 さくらシューマイ、うどの酢の物、 甘酒	3/3 ひな祭 ちらし寿司、すまし汁、 さくらシューマイ、うどの酢の物、 桃ゼリー

⑥行事食の状況 ※一部抜粋

ひだまり	野辺地ホーム	ラ・メール白山台
4/23 お花見 たけのご飯、すまし汁、さわらの照り焼き、梅春雨	4/22 郷土料理 茶がゆ、紅鮭焼き、大根の煮和え 寄せ豆腐	4/24 お花見 山菜ごはん、すまし汁、天ぷら、酢味噌かけ、昆布巻き、ヨーグルト
5/5 端午の節句 一口オムライス・すまし汁鯉のぼりハンバーグ、たこちゃんウインナー、ふきと竹の子の白和え、さつま芋の甘露煮、長芋梅肉和え、柏餅	7/7 七夕 温か七夕そうめん、具入り玉子豆腐揚げなす	4/29 昭和の日 五目ちらし寿司・すまし汁 たけのこ土佐に・酢の物 ジョア
7/7 七夕 枝豆ご飯、七夕そうめん、 星のハンバーグ、おくらと山芋のねばねばサラダ	7/21 土用の丑の日 うなぎの華やか丼 きゅうりの酢の物 そうめん汁	5/5 こどもの日 オムライス、はるさめスープ エビとブロッコリーサラダ フルーツヨーグルト
7/28 土用の丑の日 うなたま丼、すまし汁、かまぼこの辛子 和え、大根サラダ（ゆず）	8/13 お盆 赤飯、煮しめ、精進揚げ きゅうりとみかん缶酢の物	7/7 七夕 梅しそごはん、七夕そうめん汁 天ぷら・茶碗むし・ヨーグルト
8/14 お盆 赤飯、すまし汁、煮しめ、紅白なます 玉子とうふ	9/16 敬老会 五目ちらし寿司、炊き合わせ、かにの 甲羅グラタン、お吸い物、飲むゼリー	7/28 土用の丑の日 うなぎちらし寿司、すまし汁 ところてん、メロン、ジョア
9/22 敬老会 栗ご飯、すまし汁、天ぷら盛り合わせ、金目鯛西京焼き、一口昆布、鶏肉しのだ煮、厚焼玉子、エビサド、長芋の梅肉和え、みかん缶、茶碗蒸し	10/12 季節献立 さつま芋ごはん、さばの塩焼き、大根の煮和え、夏みかん	9/20 敬老の日 赤飯、すまし汁、茶碗蒸し 天ぷら、葡萄ゼリー、ヨーグルト
12/24 クリスマス チキンライス、コンソメスープ、丸ごと グラタン、若鶏もも照焼き、星型プレーンオムレツ、ブロッコリーとコーンの サラダ、いちご	11/2 寿司の日 ちらし寿司、春菊のピーナツ和え 舞茸のお吸い物	12/25 クリスマス ドライカレー、野菜スープ エビとブロッコリーサラダ ジョア、デザート
12/31 年越し 助六寿司、年越しそば、カニ甲羅グラ タン、ふきと竹の子の白和え、大根サ ラダ、茶碗蒸し	12/23 クリスマス えびピラフ、グリルチキン ミモザサラダ、コンソメスープ デコレーションケーキ	12/31 大晦日 年越しそば、天ぷら盛り合わせ
1/1 正月（おせち風） ご飯、すまし汁、筑前煮、伊達巻、紅 白かまぼこ、黒豆、一口昆布、大根な ます、かぼちゃ含め煮、八幡巻	12/31 年越し 年越しそば、煮しめ、盛り合わせ 茶わん蒸し	1/1 元日 赤飯、お雑煮風おつゆ 煮しめ、紅白なます、くりきんとん、 お多福豆
2/3 節分 恵方巻、すまし汁、いわし梅フライ、 大根ときゅうりの胡麻和え	1/1 お正月 栗きんとん、昆布巻、エビ天ぷら 煮和え、紅白なます、黒豆甘煮	2/3 節分 五目ちらし寿司、すまし汁、冬瓜のエ ビあんかけ、五目豆
3/3 ひな祭り ちらし寿司、すまし汁、花型豆腐ハンバ ーグ、さくらしゅうまい、桜えびとオク ラのお浸し、鮭塩焼き、さくら漬 白桃缶、ひなあられ	3/3 ひな祭り ちらし寿司、菜の花の和え物、すまし 汁、三色杏仁豆腐	3/3 ひな祭り 五目ちらし寿司、すまし汁、茶碗蒸し、 フルーツ盛り合わせ、ヨーグルト

⑦行事食の状況 ※一部抜粋

ラ・メール小中野	ゆうなぎの里	しおさい岬
5/25 開設記念日 赤飯、すまし汁、天ぷら 茶碗蒸し、ふきと筍胡麻和え、 ジョア	4/21 創立祭 八杯汁、寿司、天ぷら、煮物、玉子焼 き、鶏八幡巻き、エビ、湯葉巻き、 かまぼこ、煮豆、おひたし、ケーキ、 果物、おやつー生菓子	4/28 春の献立 桜そば、3食ごま豆腐、 湯葉と菜の花の和え物
7/7 七夕 梅しそごはん、七夕そうめん汁 天ぷら・茶碗むし・ヨーグルト	7/7 七夕 うなぎちらし、そうめん、天ぷら、 煮物、湯葉巻き、みょうが甘酢漬け、 果物、おやつバイキング	5/5 こどもの日 ちらし寿司、すまし汁、ぶりの照り焼 き、フルーツ、鯉の練切
		7/7 七夕 いなり寿司、七夕そうめん、星型メン チカツ、フルーツ盛り、七夕練切
		7/12 創立祭 うな重、松茸のお吸い物、天ぷら（3 種）、煮しめ、フルーツ（3種）、 お祝いロールケーキタワー
7/28 土用の丑の日 うなぎちらし寿司、すまし汁 ところてん、メロン、ジョア	8/13 お盆 おこわ、八杯汁、天ぷら、ささげの 油いため、南瓜の煮物、酢の物、 ところてん、煮しめ、スイカ、白玉	8/13 お盆 赤飯、八杯汁、天ぷら盛り、煮しめ、 カボチャ煮、カニカマときゅうりの酢 の物、フルーツ、かき氷、シェーク
		9/21 十五夜 栗ごはん、豚汁、卵焼きの野菜あんか け、里芋の鳥そぼろあん、フルーツ
9/20 敬老の日 赤飯、すまし汁、茶碗蒸し 天ぷら、葡萄ゼリー、ヨーグルト	11/10 寿司、八杯汁、天ぷら、すき焼き風煮、 茶わん蒸し、酢の物、水と和え、長いも 梅肉和え、あんずしそ巻き、玉子焼き、 さつま芋甘露煮、ケーキ、果物、	11/17 敬老会 寿司（稲荷、海苔巻き握り）、松茸のお 吸い物、天ぷら3種、大根の梅肉和え フルーツ2種、お祝いプレート
		12/22 クリスマス シーフードピラフ、ナポリタン、コン ソメスープ、みそ汁、カニ甲羅グラタ ン、煮込みハンバーグ、サラダ 他
12/25 クリスマス ドライカレー、野菜スープ エビとブロッコリーサラダ ジョア、デザート	12/24 クリスマス クリスマスバイキング おやつークリスマスケーキ	12/31 年越し 寿司、みそ汁、厚焼玉子、カニ爪、茶 碗蒸し、ささげのお浸し、フルーツ、 年越しそば、えび天、とろろ芋
12/31 大晦日 年越しそば、天ぷら盛り合わせ	12/31 大晦日 そば、天ぷら、茶わん蒸し、 刺身・焼き魚（選択）、酢の物	1/1 お正月 赤飯、お雑煮、伊達巻、一口昆布巻 有頭エビ、にしん甘露煮、栗きんとん、 黒豆、酢の物
1/1 元日 赤飯、お雑煮風おつゆ 煮しめ、紅白なます、くりきんとん、 お多福豆	1/1 お正月 おこわ、八杯汁、お節料理	2/2 節分 のり巻き、いなり寿司、そば、お刺身、 厚焼玉子、茶碗蒸し、かやく和え、 フルーツ
2/3 節分 五目ちらし寿司、すまし汁、冬瓜のエ ビあんかけ、五目豆	2/2 節分 いなり寿司、海苔巻き、けんちん汁、 天ぷら、酢の物、果物 おやつー練り切り、お菓子	3/3 ひな祭り ちらし寿司、すまし汁、茶わん蒸し、 天ぷら、果物、 おやつバイキング
3/3 ひな祭り 五目ちらし寿司、すまし汁、茶碗蒸し、 フルーツ盛り合わせ、ヨーグルト	3/3 ひな祭り ちらし寿司、すまし汁、茶わん蒸し、 天ぷら、果物、 おやつバイキング	3/3 ひな祭り ちらし寿司、はまぐりのお吸い物、 天ぷら3種、フルーツ、 スイーツバイキング

⑧行事食の状況 ※一部抜粋

能舞の里	いちいの森
4/29 昭和の日 茶わん蒸し、お祝い練切り	4/21 お花見 お花見弁当（外注）
5/5 こどもの日 天井、みそ汁、ほうれん草の辛し和え、こいのぼり練り切り	7/7 七夕 流しそうめん、ゼリー
6/25 手作りおやつの日 あじさいゼリー	7/28 土用の丑の日 うな井、すまし汁、ところてん、スイカ
7/7 七夕 七夕そうめん、三点盛り合わせ（メンチカツ、オムレツ、ポテト）、蕨のお浸し、星形ゼリー	8/6 夏祭り そうめん、卵粥、おにぎり、ミニアメリカンドッグ、焼き鳥、さつまスティック、焼き豆腐田楽、飲み物
7/28 土用の丑の日 ウナギ井、すまし汁、茶わん蒸し、揚げ物、和菓子	
8/13 お盆 赤飯、そうめん汁、煮しめ、天ぷら盛り合わせ、フルーツ、レアチーズケーキ	9/18 敬老会 赤飯、八杯汁、銀鱈西京焼き、三色なます（おかずのみ外注）
8/26 創立祭 五目ご飯、お吸い物、揚げ物盛合わせ、大根おろし、鶏八幡焼き	
9/15 敬老会 白粥、ビーフカレー、みかん、ポカリスエット	10/1 創立祭 栗ご飯、すまし汁、銀鱈照り焼き、煮しめ、大根なます、ぶどう、プリン
11/17 非常食 さつまいもご飯、八杯汁、銀鱈の照焼、里芋といかの煮物、フルーツ寒天	12/10 クリスマス（バイキング） ご飯、すまし汁、刺身六種、小鉢（炒り豆腐、卵豆腐、南瓜の煮物）、飲み物
12/24 クリスマス オムライス、野菜スープ、ハンバーグとポテト、かぼちゃサラダ、ケーキ	12/10 クリスマス（バイキング） ご飯、すまし汁、刺身六種、小鉢（炒り豆腐、卵豆腐、南瓜の煮物）、飲み物
12/31 年越し 年越しそば、えびの天ぷら、里芋の煮物、とろろいも、みかん、おはぎ	1/1 お正月 赤飯、すまし汁、赤魚西京焼き、黒豆、大根なます、栗きんとん、イチゴ、紅白まんじゅう
1/1 お正月 赤飯、お吸い物、筑前煮、紅白なます、栗きんとん、昆布巻、伊達巻	2/3 節分 五目ちらし寿司、すまし汁、イワシの生姜煮、五目大豆煮
2/3 節分 きのこご飯、もずくのとりみスープ、いわしの味噌煮、かにと豆腐のふんわり天	3/3 ひな祭り 雛ちらし寿司、八杯汁、菜の花のお浸し、イチゴ
3/3 ひな祭り 五目ちらし寿司、花豆腐のお吸い物、炊き合わせ、茶わん蒸し、ひな祭りゼリー	3/3 ひな祭り喫茶 おしるこ、甘酒、ジュース

10. 各事業の研修実施状況

①内部研修の実施状況（三八上北エリア）

	特養みろく	デイみろく	GHみろく
4 月	- 令和3年度の基本方針について（事業計画についての勉強会） - 新型コロナ対策について	- 今年度の基本方針について（事業計画についての勉強会） - ケアプラン作成勉強会	- 労働災害防止 - 感染マニュアルの確認 - 基本理念及び今年度の基本方針
5 月	- 感染症及び食中毒の予防及び蔓延防止について - 安全運転事故のマニュアル・職員の心得について	- 認知症について - 接遇マナーについて	- 交通安全について - 感染対策について - 身体拘束の理解と排除に向けた取り組みについて - 福祉現場における倫理及び法令遵守
6 月	高齢者虐待防止の理解と職員の役割	- 身体拘束について - 事故緊急時の対応について	- 熱中症・夏バテ防止について - 食中毒及び予防・蔓延防止について - 高齢者虐待防止の理解と職員の役割
7 月	- 救命救急について - AED の使用方法	- 介護事故について - 法令遵守について	- 働き方改革について - 夏風邪について - 救命救急について
8 月	ストレスチェック研修	プライバシー保護について	- 緊急時の対応について - 疥癬について - 身体拘束の理解と排除に向けた取り組みについて
9 月	メンタルヘルスについて	感染症対策について	- メンタルヘルスについて - 予防接種の効果と免疫について - 身体拘束の理解と排除に向けた取り組みについて - リスクマネジメントの考え方
10 月	- 身体拘束の理解と排除に向けた取り組み - 新型コロナウイルス感染症対策について	- 介護職員の為の感染対策マニュアル - 新型コロナウイルス感染症・感染者発生シュミュレーション	- ストレスチェック - 感染マニュアルの実施と物品の確認 - 新型コロナウイルス感染症対策について - 介護現場におけるプライバシー保護
11 月	- 介護現場におけるプライバシー保護について - 認知症介護実践者基礎研修について	- 安全運転について - 非常災害対応について	- 感染症の予防及び蔓延防止について - 身体拘束の理解と排除に向けた取り組みについて
12 月	- 喀痰吸引研修 - スライドボード・スライドシート取り扱いについて - 新型コロナウイルス感染症対策について	利用者の健康管理について	- 冬期間における労働災害の防止について - 感染流行情報の共有と感染対策について - 介護サービスにおける接遇とコミュニケーション
1 月	- 感染症対策について - 嘔吐物の処理・PPE 装着 4S 勉強会	認知症について	- 職場における腰痛、肩こり予防 - 感染流行情報の共有と感染対策について
2 月	新型コロナウイルス感染症対策について	緊急時対応勉強会	- 防災対策について - 感染流行情報の共有と感染対策について - 身体拘束の理解と排除に向けた取り組みについて
3 月	来年度基本方針について	- 接遇について - 次年度へ向けての勉強会	- 感染流行情報の共有と感染対策について - 次年度基本方針について

②内部研修の実施状況（三八上北エリア）

	GH みろくの郷	ひだまり	野辺地ホーム
4 月	- 令和3年度の基本方針について（事業計画についての勉強会） - 身体拘束について	「ひもときシート」伝達研修 4/21	
5 月	- 感染症及び食中毒の予防及び蔓延防止について - 新型コロナ対策について	今年度の基本方針について（事業計画についての勉強会） 5/26	吉幸会「ミッション・ビジョン・バリュー」、野辺地ホームのモットーについて 5/26
6 月	接遇マナー・コミュニケーションについて	ケアコラボの記入について 6/23	
7 月	- 救命救急について - 身体拘束について	- 新任職員研修 7/1 - クレーム処理について（伝達研修） 7/26	地域のための認知症セミナー 7/28
8 月	介護現場におけるプライバシー保護について	プライバシー保護について 8/24	ユマニチュードに（身体拘束・認知症）について 8/25
9 月	- 福祉職場における倫理及び法令遵守について - 感染症対策について	身体拘束・高齢者虐待防止について 9/21	
10 月	新型コロナウイルス感染症対策について	介護職員のための感染対策マニュアル 10/27	夜勤時の緊急対応について
11 月	高齢者虐待防止の理解と職員の役割	- 新任職員研修 11/1 - 介護技術について（ベッドメイキング） 11/24	
12 月	感染症対策について	介護技術について（オムツ交換） 12/23	
1 月	感染症対策について	新任職員研修 1/4	リスクマネジメントについて
2 月	夜間・急変時の対応について	新人管理制度について 2/24	施設内事故、ヒヤリハットについて 2/24
3 月	来年度基本方針について	4年度の事業計画について 3/23	

③内部研修の実施状況（三八上北エリア）

	ラ・メール白山台	ラ・メール小中野	居 宅
4 月	・感染症対策 ・新型コロナウイルスの対策について		・事例検討
5 月	・認知症ケア	・新任職員研修 ・身体拘束防止、権利擁護、虐待防止 ・嚥下、咀嚼について（疑似体験）	・事例検討
6 月	・新任職員研修 ・身体拘束防止、権利擁護、虐待防止	・認知症ケア	・事例検討
7 月	・熱中症予防（水分補給） ・トランスファ（移乗介助）	・新型コロナウイルスの対策について ・トランスファ（移乗介助）	・事例検討
8 月	・オムツ交換	・オムツ交換 ・感染対策	・事例検討
9 月	・嚥下、咀嚼について（疑似体験）		・事例検討
10 月	・感染症対策（2回目）	・感染症対策（2回目）	・事例検討
11 月	・看取りケア（終末期ケアの考え方、死生観）		・事例検討
12 月	・新型コロナウイルスの対策について（2回目）	・新型コロナウイルスの対策について（2回目）	・事例検討
1 月	・身体拘束防止、権利擁護、虐待防止（2回目） ・新型コロナウイルスの対策について（周知）	・新型コロナウイルスの対策について（周知）	・事例検討
2 月	・終末期ケアについて（安楽な姿勢、清潔保持）	・感染対策（2回目）	・事例検討
3 月	・事故防止について	・事故防止について ・身体拘束防止、権利擁護、虐待防止（2回目）	・事例検討

④内部研修の実施状況（むつ下北エリア）

	ゆうなぎの里	しおさい岬	能舞の里
4 月	・事業計画について ・介護記録について	・しおさい岬事業計画について ・防護服の着脱について	・新任研修（介護）
5 月	・施設内事故発生時の対応 ・ひもときシートの活用	・認知症高齢者の正しい理解と対応について ・法人研修会報告 ・トレーニングステージ伝達研修 ・介護部会伝達研修	・個人情報保護について ・法令順守と職業倫理について
6 月	・感染予防研修	・リスクマネジメントについて	・新任研修（看護） ・食中毒について
7 月	・虐待防止について ・不適切ケアについて	・高齢者の虐待防止・対応マニュアルについて	・熱中症について
8 月	・法人事例研究「福祉フェス」事例動画視聴	・介護の基本用語について	・与薬について ・新任研修（介護）
9 月	・新型コロナウイルスについて	・リハビリについて	・スピーチロックについて
10 月	・コロナウィルス感染症机上シュミレーション ・施設の看護対策について	・吉幸会事例研究発表（内容について）	・介護職員が行う医療行為について
11 月	・救命救急講習（気道異物除去他）	・安全対策担当者養成伝達研修	・新任研修（看護）
12 月	・介護力向上委員会による研修 ・感染・褥瘡予防対策委員会による研修	・紙オムツについて	・接遇について
1 月	・施設内事例発表（4ユニット）	・感染予防、身体拘束の理解について	・認知症について
2 月	・高齢者の虐待防止について（青森県虐待事例他）	・接遇研修、虐待防止研修、職場研修担当者伝達研修	・陵辱について
3 月	・事故防止委員会から施設内事故集計結果及び対策について	・夜間想定避難訓練 ・コロナ感染予防対策	・委員会報告

⑤内部研修の実施状況（むつ下北エリア）

	いちいの森	佐井村保育所
4 月	・新採用時研修 4/1	・保育所運営・保育理念と今年度の保育方針について（兼職員会議）
5 月	・新採用時研修 5/1	・おすすめの絵本について（読み聞かせ） ・ハラスメントについて
6 月	・新採用時研修 7/1, 7/5	
7 月		・プール、水遊びの安全・衛生・体調管理について
8 月		
9 月	・新採用時研修 9/1	
10 月	・新採用時研修 10/1	・保育を振り返ろう
11 月	・新採用時研修 11/1、11/15	
12 月		
1 月		・嚙みつきについて ・リズム表現（さくらさくらんぼ）
2 月	・褥瘡について（30 度側臥位・ポジショニング） 2/24	・事務の効率的な引継ぎ
3 月	・新採用時研修 3/1, 3/7 ・高齢者虐待について 3/30	・不審者対応避難訓練 ・年度末反省

⑥外部研修の受講状況（三八上北エリア）

	みろく苑	デイみろく苑	GH みろく苑
4 月	・青森県栄養士会研修会 ・衛生管理担当者研修会	・吉幸会実績管理に関する研修会	・吉幸会実績管理に関する研修会
5 月	・衛生管理担当者研修会 ・吉幸会職種別研修「トレーニングステージ研修」	・吉幸会「トレーニングステージ研修」	・吉幸会「トレーニングステージ研修」
6 月	・衛生管理担当者研修会 ・吉幸会職種別研修「給食部会」 ・吉幸会リスクマネジメント研修	・吉幸会リスクマネジメント研修	・吉幸会リスクマネジメント研修
7 月	・喀痰吸引研修「演習」 ・床ずれ対策 WEB セミナー	・認知症実践者研修（5 日間）	
8 月	・喀痰吸引研修 ・安全運転管理者講習		
9 月	・青森県認知症介護実践研修「実践リーダー研修」	・吉幸会新任マネージャー養成講座 ・認知症実践リーダー研修	・R3 年度青森県認知症介護実践研修「実践リーダー研修」
10 月	・介護サービス情報の公表制度「10 の研修テーマ」に係る研修 A コース・B コース ・介護福祉士現任研修 ・安全衛生推進者養成講習会 ・喀痰吸引研修「指導者講習」	・吉幸会「アクションステージ研修」10/14	・吉幸会「スキルアップ研修」
11 月	・介護サービス情報の公表制度「10 の研修テーマ」に係る研修 C コース・D コース ・令和 3 年度 福祉サービス苦情解決関係者等研修会 ・地域で出来る在宅医療と看取り研修		・八戸市医師会交流センター・介護保険委員会「地域でできる在宅医療と看取り研修」 ・令和 3 年度 福祉サービス苦情解決関係者等研修会
12 月	・吉幸会職種別研修「ケアマネ部会」		・田子町介護職員初任者研修修了者フォローアップ研修 ・吉幸会職種別研修「ケアマネ部会」
1 月	・介護支援専門員実務研修 ・青森県認知症介護基礎研修		
2 月			
3 月	・吉幸会「グローイングステージ研修」 ・吉幸会職種別研修「介護部会」 ・吉幸会 SNS リテラシー研修		・吉幸会職種別研修「介護部会」

⑦外部研修の受講状況（三八上北エリア）

	GH みろくの郷	ひだまり	野辺地ホーム
4 月	・吉幸会実績管理に関する研修会	・職種別研修会「介護部会」4/15 ・吉幸会実績管理に関する研修会	・介護実習生事前研修
5 月	・吉幸会「トレーニングステージ研修」	・吉幸会「トレーニングステージ研修」5/13 ・「介護部会」ひもときシートの活用5/21	・吉幸会介護部会「ひもときシートの活用」5/21 ・吉幸会「トレーニングステージ研修」5/13
6 月	・吉幸会リスクマネジメント研修	・職種別研修会「給食部会」6/29 ・吉幸会リスクマネジメント研修6/30	・吉幸会リスクマネジメント研修6/30 ・喀痰吸引研修
7 月			・喀痰吸引研修
8 月			・安全対策担当者養成研修
9 月		・技能実習責任者講習 9/15	・新任マネージャー養成講座 9/27
10 月		・吉幸会「アクションステージ研修」10/14 ・新型コロナ対策合同研修会 10/13 ・吉幸会職種別研修「看護部会」10/14 ・地域ネットワークコミュニティ10/18	・吉幸会職種別研修「看護部会」10/14 ・吉幸会「アクションステージ研修」10/14 ・私にできるコミュニケーション術 ・褥瘡ケアの基本
11 月		・介護労働者雇用責任者講習会 11/1 ・地域ネットワークコミュニティ 11/2 ・外国人介護人材受入準備セミナートークセッション 11/16 ・技能実習指導員講習 11/17 ・福祉サービス苦情解決関係者研修会 11/25 ・吉幸会職種別研修「事務部会」11/29	・コロナ対策にも使える感染症対策 ・吉幸会職種別研修「事務部会」11/29
12 月		・吉幸会職種別研修「ケアマネ部会」12/13	・在宅医療、介護連携における多職種連携研修会（訪問歯科について） ・吉幸会職種別研修「ケアマネ部会」12/13
1 月			・R3 青森県認知症基礎研修
2 月			・令和3年度青森県介護支援専門員施設介護支援専門員向けケアプラン立案ポイントに係る情報交換会
3 月	・吉幸会「グローイングステージ研修」3/4 ・認知症ケアのための多職種連携研修 ・吉幸会 SNS リテラシー研修	・吉幸会「グローイングステージ研修」3/4 ・職員の視点に立った職場づくり 3/7 ・吉幸会職種別研修「介護部会」3/10 ・吉幸会 SNS リテラシー研修 3/25	・吉幸会「グローイングステージ研修」3/4 ・吉幸会職種別研修「介護部会」3/10 ・吉幸会 SNS リテラシー研修 3/25

⑧外部研修の受講状況（三八上北エリア）

	ラ・メール白山台	ラ・メール小中野	居 宅
4 月			・田子町介護保険連絡協議会 ・田子町地域共生ケアシステム研修 ・吉幸会職種別研修「ケアマネ部会」研修 12/13
5 月	・吉幸会「トレーニングステージ研修」) 5/13 ・吉幸会職種別研修「介護部会」ひもときシーターの活用 5/21	・吉幸会「トレーニングステージ研修」 5/13	
6 月	・青森県喀痰吸引等研修 ・吉幸会リスクマネジメント研修 6/30	・吉幸会リスクマネジメント研修 6/30	
7 月			
8 月			
9 月		・新任マネージャー基礎講座 9/27	
10 月	・吉幸会職種別研修「看護部会」 10/14 ・吉幸会「アクションステージ研修」 10/19 ・安全対策担当者養成研修	・新型コロナウイルス対策合同研修会 10/13 ・吉幸会「看護部会」 10/14 ・吉幸会「アクションステージ研修」 10/19 ・安全対策担当者養成研修	
11 月	・吉幸会職種別研修「事務部会」 11/29	・吉幸会職種別研修「事務部会」 11/29	
12 月	・吉幸会職種別研修「ケアマネ部会」研修 12/13		
1 月			
2 月			
3 月	・吉幸会「グローイングステージ研修」 3/4 ・吉幸会職種別研修「介護部会」 3/10 ・吉幸会 SNS リテラシー研修 3/25	・吉幸会「グローイングステージ研修」 3/4 ・吉幸会職種別研修「介護部会」 3/10 ・吉幸会 SNS リテラシー研修 3/25	

⑨外部研修の受講状況（むつ下北エリア）

	ゆうなぎの里	しおさい岬	能舞の里
4 月	・吉幸会職種別研修「介護部会」4/15 ・吉幸会実績管理に関する研修会 4/23		・吉幸会職種別研修「介護部会」4/15 ・吉幸会実績管理に関する研修会 4/23
5 月	・吉幸会「トレーニングステージ研修」5/13	・社会人のマインドセット ・吉幸会「トレーニングステージ研修」5/13	・吉幸会「トレーニングステージ研修」5/13 ・外国人技能実習責任者講習 5/18
6 月	・吉幸会職種別研修「給食部会」6/29 ・吉幸会リスクマネジメント研修 6/30	・喀痰吸引等研修 基本研修・講義 ・職種別研修会「給食部会」6/29 ・吉幸会リスクマネジメント研修 6/30	・吉幸会職種別研修「給食部会」6/29 ・吉幸会リスクマネジメント研修 6/30
7 月		・福祉職員キャリアパス対応生涯研修初任者コース ・喀痰吸引等研修 基本研修・講義	・青森県介護支援専門員更新研修 7/25～9/16（12回）
8 月			
9 月		・介護施設における安全対策者養成研修 ・喀痰吸引等研修 筆記（青森市）	・ユニットリーダー研修 9/2, 3 ・吉幸会マネージャー研修 9/24 ・吉幸会新任ケアマネージャー研修 9/27
10 月	・吉幸会職種別研修「看護部会」10/14 ・吉幸会「アクションステージ研修」10/14	・10 の研修テーマ A・B コース ・キャリアパス研修 中堅コース ・吉幸会「アクションステージ研修」10/14	・吉幸会職種別研修「看護部会」10/14 ・吉幸会「アクションステージ研修」10/19
11 月	・吉幸会職種別研修「事務部会」11/29	・10 の研修テーマ C コース ・10 の研修テーマ D コース ・施設看護師の専門性と具体的な動き ・窒息時初動動作講習 ・吉幸会職種別研修「事務部会」11/29	・ユニットリーダー研修 11/11, 12 ・外国人介護人材受入準備セミナー研修 11/16 ・福祉サービス苦情解決関係者研修 11/25 ・吉幸会職種別研修「事務部会」11/29
12 月	・吉幸会職種別研修「ケアマネ部会」12/13	・喀痰吸引等研修 実地研修 ・吉幸会職種別研修「ケアマネ部会」12/13	・吉幸会職種別研修「ケアマネ部会」12/13
1 月		・ユニットリーダー研修	・生活相談員研修 1/6 ・外国人技能実習生受入研修 1/14 ・外国人介護職員指導担当者研修 1/27
2 月	・安全衛生推進者養成講習 2/2, 3		・外国人技能実習指導員講習 2/15 ・外国人生活指導員講習 2/16 ・青森県老施協認知介護基礎研修 2/16
3 月	・吉幸会職種別研修「介護部会」3/10 ・吉幸会 SNS リテラシー研修 3/25	・吉幸会「グロウイングステージ研修」3/4 ・吉幸会職種別研修「介護部会」3/10 ・吉幸会 SNS リテラシー研修 3/25	・吉幸会職種別研修「介護部会」3/10 ・吉幸会 SNS リテラシー研修 3/25

⑩外部研修の受講状況（むつ下北エリア）

	いちいの森	佐井村保育所
4 月		・県保連むつ支部 ・主任部会
5 月	・吉幸会「トレーニングステージ研修」5/13	・吉幸会「トレーニングステージ研修」5/13
6 月	・喀痰吸引等研修基本研修「講義」（青森市）6/17-19、6/28-29 ・職種別研修会「給食部会」6/29 ・吉幸会リスクマネジメント研修6/30	
7 月	・喀痰吸引等研修基本研修「講義」（青森市）7/13、7/15、7/16、7/29-30	
8 月		
9 月		
10 月	・吉幸会職種別研修「看護部会」10/14 ・吉幸会「アクションステージ研修」10/19	・吉幸会「アクションステージ研修」10/19
11 月	・安全対策担当者養成研修Ⅰ1/17 ・吉幸会職種別研修「事務部会」11/29	・吉幸会職種別研修「保育部会」（虐待）11/26
12 月	・吉幸会職種別研修「ケアマネ部会」12/13 ・喀痰吸引等研修実地研修（野辺地町）12/13-16 ・喀痰吸引研修実地研修（野辺地町）12/20-23	・心肺蘇生・応急処置について
1 月		
2 月	・「施設」と「在宅」の看取りを考える2/10 ・R3 介護サービス事業者集団指導2/25	
3 月	・吉幸会「グローイングステージ研修」3/4 ・吉幸会職種別研修「介護部会」3/10 ・吉幸会 SNS リテラシー研修3/25	・吉幸会 SNS リテラシー研修3/25

⑪主な会議・委員会等の実施状況

	みろく苑	ひだまり	野辺地ホーム	ラ・メール白山台	ラ・メール小中野
各種会議の実施	職員会議（月１回） 主任会議（月２回） 給食会議（月１回） 各部署会議（毎月） 各部署ケース会議（月１回） 運営推進会議（GH苑・GH郷 各年６回）	職員会議（月１回） リーダー会議（月１回） 給食会議（月１回） カンファレンス〈各ユニット月１回〉 ケース会議〈各ユニット６か月に１回〉 運営推進会議（年６回）	給食会議（月１回） 評価会議（月１回） ケース会議（月１回） 口腔ケア会議（月１回） 職員全体会議（月１回）	職員会議（月１回） リーダー会議（月１回） 給食会議（月１回） カンファレンス（月１回） ケース会議 運営推進会議	職員会議（月１回） リーダー会議（月１回） 給食会議（月１回） カンファレンス（月１回） ケース会議 運営推進会議
各委員会の設置	感染対策委員会（月１回） 褥瘡対策委員会（３ヶ月に１回） 事故防止委員会（３ヶ月に１回） 身体拘束廃止委員会（随時） 行事係 広報係 環境係 入所判定委員会 衛生委員会	感染対策委員会（月１回） 褥瘡防止委員会（月１回） 身体拘束廃止委員会（月１回） ヒヤリハット委員会（月１回） 環境整備委員会（月１回） 広報委員会（月１回） 研修委員会（月１回） 入所判定会議（随時）	感染対策委員会（月１回） 身体拘束適正化検討委員会（月１回） 事故対策委員会（月１回） 医療的ケア委員会（３ヶ月に１回） 褥瘡予防委員会（月１回）	感染対策委員会（月１回） ヒヤリハット委員会（月１回） 身体拘束廃止委員会（月１回） 入所判定委員会 研修委員会（月１回） 褥瘡防止委員会（月１回）	感染対策委員会（月１回） ヒヤリハット委員会（月１回） 身体拘束廃止委員会（月１回） 入所判定委員会 研修委員会（月１回） 褥瘡防止委員会（月１回）

	ゆうなぎの里	しおさい岬	能舞の里	いちいの森	佐井村保育所
各種会議の実施	全体会議（月１回） 運営会議（月１回） 給食会議（月１回） ユニット会議（月１回） 運営推進会議（年４回）	職員全体会議（月１回） 運営会議（月１回） ユニット会議（月１回） 給食会議（月１回） サービス担当者会議（随時） 運営推進会議（年６回）	職員全体会議（月１回） 運営会議（月１回） 給食会議（月１回） サービス担当者会議（随時） 運営推進会議（年４回）	職員全体会議（月１回） 運営会議（月１回） 給食会議（月１回） 運営推進会議（年４回） 介護職員会議（月１回）	保育会議（月１回） 職員会議（月１回） リーダー会議（随時） チーム会議（随時） 父母の会総会 父母の会役員会 保育懇談会 学校保健会情報交換会 保健師情報交換 歯科情報交換会
各委員会の設置	感染対策委員会（３ヶ月に１回） 褥瘡対策委員会（３ヶ月に１回） 事故防止委員（３ヶ月に１回） 身体拘束廃止委員会（３か月に１回） 行事・環境美化委員会（随時） 入所判定委員会 苦情処理委員会	感染予防委員会（月１回） 褥瘡対策委員会（月１回） 事故防止委員（月１回） 身体拘束廃止委員会（月１回） 研修委員会（月１回） 行事委員会（随時） 環境美化委員会（随時） 入所判定委員会 苦情処理委員会	感染予防委員会（月１回） 褥瘡対策委員会（月１回） 事故防止委員（月１回） 身体拘束廃止委員会（月１回） 入所判定委員会 広報委員会	感染予防委員会（３ヶ月に１回） 褥瘡対策委員会（３ヶ月に１回） 事故防止委員（月１回） 身体拘束廃止委員会（月１回） 業務改善委員会 研修委員会 環境美化委員会 行事委員会 広報委員会 入所判定委員会	

⑫法人の取り組み

＝法人研修委員会の活動＝

- 研修委員会開催状況 12 回（うちオンラインによる開催 8 回）
- 各施設新任職員研修（各事業所にて実施）
- 法人現任職員研修（各階層ステージで実施）
 - ・トレーニングステージ研修 5/13
 - ・アクションステージ研修 10/19
 - ・グローイングステージ研修 3/4
- 介護支援専門員受講資格取得サポート
 - ・受験案内及び模擬問題の情報提供（受験者 4 名 うち合格者 2 名）
- 介護福祉士受験サポート
 - ・受験案内及び模擬問題の情報提供（受験者 13 名 うち合格者 4 名）
- 管理栄養士受験サポート
 - ・受験案内及び模擬試験の情報提供（受験者 1 名 うち合格者 0 名）
- 職種別研修（7 部会のうち 6 部会開催）
 - ・介護部会「認知症ケア／ひもときシートを活用しよう」
4/15 野辺地ホーム、5/21 オンライン ※前年度からの継続実施研修
「利用者本位の支援とは」 3/10 オンライン
 - ・給食部会「令和 3 年度介護報酬改定の概要と栄養専門職の役割について」
6/29 野辺地ホーム
 - ・看護部会「感染対策について」（認定看護師派遣事業利用）
10/14 ひだまり
 - ・保育部会「こどもを虐待から守るために」（青森県出前トーク事業利用）
11/26 佐井村保育所
 - ・事務部会「予算書の作成方法について」 11/29 オンライン
 - ・ケアマネ部会「アセスメントの重要性、課題整理総括表について」
12/13 ひだまり

＝資格取得支援＝

- 介護福祉士実務者研修実施（株式会社 JMTC と連携協力）
※吉幸会受講者 6 名（受験者 2 名うち合格者 1 名）

＝福利厚生事業＝

- 介護福祉士受験資格取得支援貸与事業の実施（13 名貸与）

＝地域貢献活動＝

- 日本財団「夢の貯金箱」チャリティー自動販売機設置
ゆうなぎの里 3 台、しおさい岬 2 台、いちいの森 1 台、ひだまり 2 台、野辺地ホーム 1 台
（計 9 台設置）
- 24 時間テレビ協賛 テレビ CM 放映 8/21 から 8/31
※福祉、環境、災害復興のための募金への協賛
- 2021 ラジオチャリティミュージックソン広告協賛 ラジオ放送 12/18～12/25
※音の出る信号機設置基金への協賛